

岐阜県感染症発生動向調査年報

2018年（平成30年）

岐阜県保健環境研究所

## 目次

I	感染症発生動向調査事業の概要	1
II	感染症発生動向調査結果	
1	全数把握対象感染症	3
(1)	一類、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症	3
(2)	二類感染症	3
(3)	三類感染症	3
(4)	四類感染症	5
(5)	五類感染症	7
2	定点把握対象の五類感染症	13
(1)	インフルエンザ定点	13
(2)	小児科定点	15
(3)	眼科定点	25
(4)	基幹定点	27
(5)	性感染症定点	35
3	感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	39
	集計表	40

## I 感染症発生動向調査事業の概要

平成 11 年 4 月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、感染症発生動向調査は感染症対策の主要な柱の一つとして位置づけられた。その内容は、感染症の発生情報の把握・分析と結果の提供・公開であり、岐阜県では国の定める「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき「岐阜県感染症発生動向調査事業実施要領」を定め、保健環境研究所内に岐阜県感染症情報センター（岐阜県の基幹地方感染症情報センター）を設置し、医療機関協力の下、本事業を実施している。

### 1 調査対象疾患

本事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握対象感染症 89 疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症）と、指定届出機関が報告を行う定点把握対象感染症 26 疾患（五類感染症の一部及び感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）を対象としている（2018 年 12 月 31 日時点）。

### 2 指定届出機関

定点把握対象感染症の報告を行う指定届出機関（患者定点）は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点、性感染症定点及び疑似症定点からなり、各定点の指定数は下表のとおりである。また、患者定点の中から病原体定点を選定し、病原体検索のため検体の提供を受けている。

表 指定届出機関の指定数（2018 年 12 月 31 日時点）  
（数字は患者定点の数、カッコ内の数字は病原体定点の数）

定点種別	全県	保健所							
		岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ定点	87 (10)	14 (2)	17 (1)	15 (2)	8 (1)	8 (1)	8 (1)	7 (1)	10 (1)
小児科定点	53 (6)	9 (1)	10 (1)	9 (1)	5 (1)	5	5 (1)	4	6 (1)
眼科定点	11 (2)	2	2 (1)	3	-	1	1	1 (1)	1
性感染症定点	15	3	2	3	1	2	2	1	1
疑似症定点	100	23	17	18	12	7	10	7	6

定点種別	全県	圏域				
		岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹定点	5 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

### 3 患者情報の収集

患者情報は、全数把握対象感染症は診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内）、定点把握対象感染症は週または月単位で、感染症発生動向調査システムにより、医療機関から保健所を通じて岐阜県感染症情報センターで収集している。また、収集した情報は、中央感染症情報センター（国立感染症研究所）に報告している。

### 4 病原体情報の収集

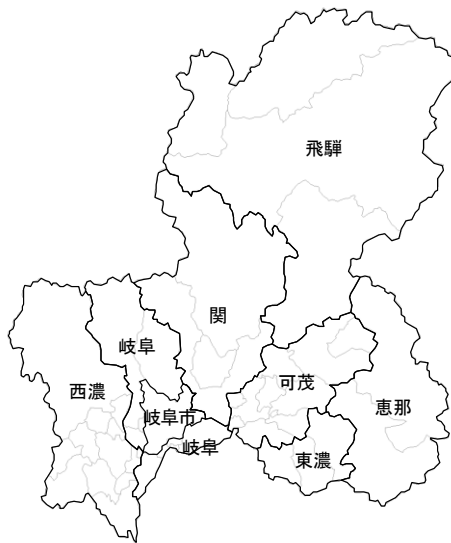
病原体定点から提供される検体や、医療機関等で患者から分離された病原体を収集し、岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において検査を実施し県内の病原体情報を収集している。収集した情報は、感染症発生動向調査システムにより中央感染症情報センターに報告している。

## 5 情報の解析・発信

収集した情報は週単位で集計・解析し、「岐阜県感染症発生動向調査週報」としてホームページに公開し、県内の医療機関、保健所、教育委員会等の関係機関に提供している。また、保育所や高齢者施設等の福祉施設や県民に対して、感染症の発生動向や予防方法をわかりやすく解説した「ぎふ感染症かわら版」の発行も行っている。

さらに、学識経験者、医療関係者、行政関係機関職員等で構成される岐阜県感染症予防対策協議会 感染症発生動向調査部会を月 1 回開催し、収集した情報の解析・評価を行うとともに情報共有を図っている。

(参考) 保健所区分



医療圏	保健所	市町村
岐阜	岐阜市	岐阜市
	岐阜	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃	西濃	大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町
中濃	関	関市、美濃市、郡上市
	可茂	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
東濃	東濃	多治見市、瑞浪市、土岐市
	恵那	恵那市、中津川市
飛騨	飛騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

## II 感染症発生動向調査結果

2018年に感染症発生動向調査において得られた患者情報および病原体情報は次のとおりであった。

なお、全数把握対象感染症および週報告対象の定点把握対象感染症については、2018年第1週～第52週（2018年1月1日～2018年12月30日）に、月報告対象の定点把握対象感染症については、2018年1月1日～12月31日に診断された患者を集計対象とした。

また、病原体情報は、届出症例の検体について岐阜県保健環境研究所または岐阜市衛生試験所において実施した検査結果を示し、届出症例以外の疑い症例等を含む病原体検査実施状況については、巻末の集計表に示した。

### 1 全数把握対象感染症

#### (1) 一類、新型インフルエンザ等感染症<sup>※1</sup>及び指定感染症<sup>※2</sup>

一類感染症の報告はなかった。

※1及び2 該当なし

#### (2) 二類感染症

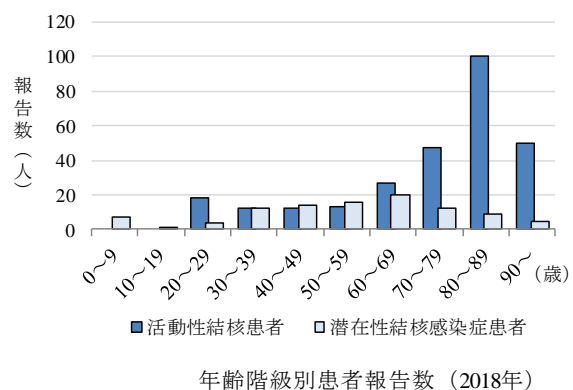
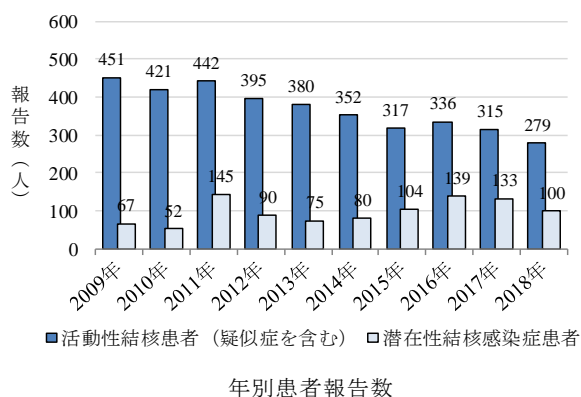
結核 379 例の報告があった。

#### a. 結核

##### 患者情報

2018年の患者報告数は379例で、患者（活動性結核）が279例、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）が100例であった。活動性結核、潜在性結核感染症ともに報告数は前年（活動性結核312例、潜在性結核感染症133例）より減少した。活動性結核の病型は、肺結核（肺外結核の併発を含む。）が209例（74.9%）、肺外結核が70例（25.1%）であった。

活動性結核患者の年齢階級は高齢者が大半であり、70歳以上で全体の70.6%、80歳以上で全体の53.8%を占めた。また、20～30歳代の患者の約7割が外国出生者であった（結核登録者データより）。



#### (3) 三類感染症

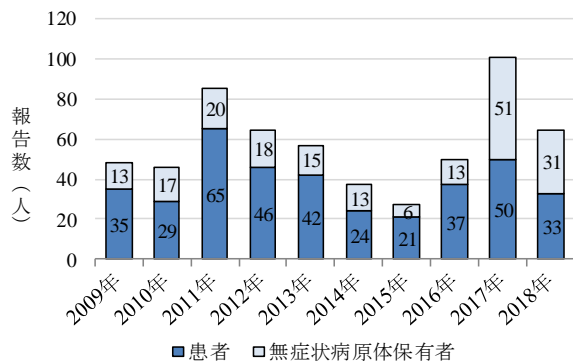
細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 64 例、腸チフス 5 例、パラチフス 1 例の報告があった。

## a. 腸管出血性大腸菌感染症

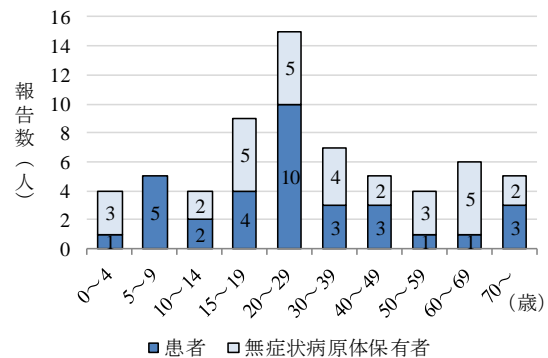
### 患者情報

2018年の患者報告数は64例であり、過去10年間では3番目に多かった。64例中、患者が33例、無症状病原体保有者が31例であった。

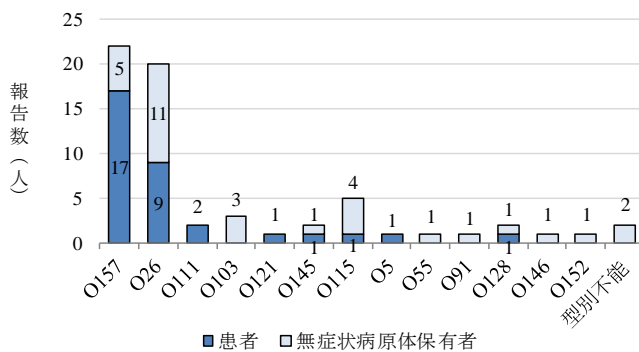
血清型別では、O157が22例、O26が20例と多かったが、食品業務従事者等の検便を含め主要血清型以外にも様々な血清型が報告された。保育所等での集団事例はなかったが、O26による家族内感染事例が4事例（2例/4例/5例/6例）と多かった。年齢階級別では、小児から成人まで幅広い年齢層で患者が報告された。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数（2018年）



血清型別患者報告数（2018年）

### 病原体情報

届出患者60例から分離された菌株の同定検査の結果は下表のとおりであった。

表 腸管出血性大腸菌感染症患者から分離された菌株の同定結果

菌種、血清型等	株数	菌種、血清型等	株数
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	13	<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2	1
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	2	<i>Escherichia coli</i> O128:H2 VT2	2
<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	3	<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1	5
<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT2	1	<i>Escherichia coli</i> O146:H21 VT2	1
<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1	15	<i>Escherichia coli</i> O91:H14 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O26:H- VT1	4	<i>Escherichia coli</i> O55:H12 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1&2	1	<i>Escherichia coli</i> O5:H- VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1	3	<i>Escherichia coli</i> O152:H8 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O111:H8 VT1	1	<i>Escherichia coli</i> OUt:H21 VT2	1
<i>Escherichia coli</i> O111:H- VT1&2	1	<i>Escherichia coli</i> OUt:H8 VT1	1
<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2	1	合計	60

## b. 細菌性赤痢

### 患者情報

2018 年は 1 例の報告があった。国外感染例で、推定感染地域はカンボジアであった。

### 病原体情報

細菌性赤痢の届出患者から分離された菌株の同定検査の結果、*Shigella sonnei* と同定された。

## c. 腸チフス

### 患者情報

2018 年は 5 例の報告があった。5 例のうち 4 例は同時期に報告され、患者は親族関係にあり、親族一同でフィリピンに帰省した際に感染したと推定された VFR (visiting friends and relatives) 関連事例であった。他の 1 例は散发例で、推定感染地域はパキスタンであった。

### 病原体情報

届出患者から分離された菌株の同定検査の結果、5 例とも *Salmonella Typhi* と同定され、国立感染症研究所におけるフェージ型別試験結果は、5 例すべて Degraded Vi positive Strain (DVS) であった。

## d. パラチフス

### 患者情報

2018 年は 1 例の報告があった。国外感染例で、推定感染地域はインドであった。

### 病原体情報

パラチフスの届出患者から分離された菌株の同定検査の結果、*Salmonella Paratyphi* と同定された。

## (4) 四類感染症

E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 4 例、つつが虫病 13 例、デング熱 5 例、レジオネラ症 47 例の報告があった。

### a. E 型肝炎・A 型肝炎

#### 患者情報

2018 年の患者報告数は E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 4 例であり、前年 (E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 3 例) と同程度であった。E 型肝炎は、60 歳代男性、国内感染例であった。A 型肝炎は、4 例中 3 例が国内感染例 (30 歳代男性 2 例、50 歳代男性 1 例、いずれも散发例)、1 例が国外感染例 (20 歳代女性、推定感染地域：パキスタン) であった。

#### 病原体情報

E 型肝炎の届出患者の検体を検査した結果、E 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子型は 3f であった。A 型肝炎の届出患者 4 例の検体を検査した結果、4 例とも A 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子型は 1 例が IA、2 例が IIIA (国外感染例を含む)、1 例は遺伝子型別不明であった。

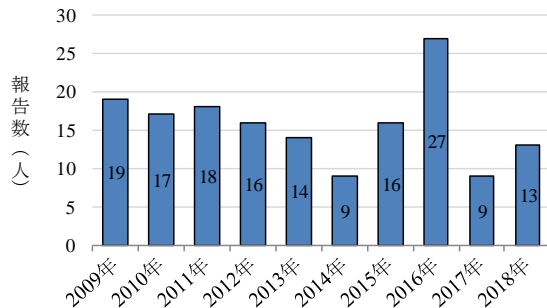
### b. つつが虫病

#### 患者情報

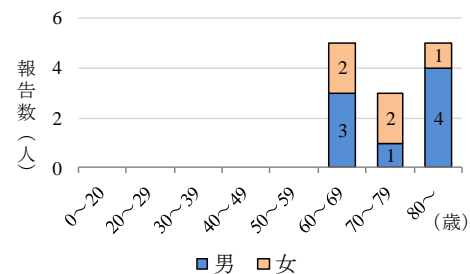
2018 年の患者報告数は 13 例で、過去 10 年間では比較的少なかった。患者の報告月は、1 月 4 例、10 月 1 例、11 月 6 例、12 月 2 例であったが、1 月に報告された 4 例はいずれも前年 10 月ま

たは11月に感染したと推定される症例であり、例年と同様に秋～初冬の感染例が多かった。男性8例、女性5例で、すべて60歳以上であり、例年と同様に高齢者に偏っていた。

保健所別では、関保健所が10例と多く、他は西濃保健所が2例、飛騨保健所が1例であった。推定感染地域は関市、郡上市、山口市が各3例、揖斐川町2例、下呂市1例、未記載が1例であった。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数(2018年)

### 病原体情報

つつが虫病の届出患者5例の検体を検査した結果、5例すべてからツツガムシ病リケッチア遺伝子が検出され、血清型はKuroki型が2例(推定感染地域:ともに郡上市)、Kawasaki型が3例(推定感染地域:山口市2例、関市1例)であった。

### c. デング熱

#### 患者情報

2018年の患者報告数は5例で、前年(2例)よりやや多かった。

デング熱の病型は5例ともデング熱であり(デング出血熱なし)、推定感染地域はフィリピンが2例、タイ、マレーシア、バングラデシュが各1例であった。

#### 病原体情報

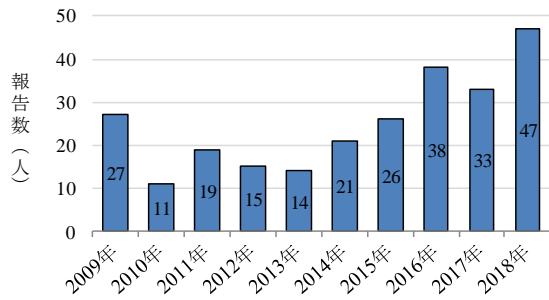
デング熱の届出患者3例の検体を検査した結果、3例ともデングウイルス遺伝子が検出され、ウイルスの血清型は1型(推定感染地域:フィリピン)、2型(推定感染地域:タイ)、3型(推定感染地域:マレーシア)が各1例であった。

### d. レジオネラ症

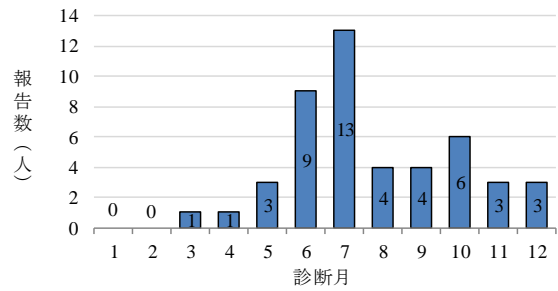
#### 患者情報

2018年の患者報告数は47例で、報告が始まった1999年以降最多であった。年間を通じて患者の報告があったが、近年の傾向と同様に6~7月に増加した。患者の病型は肺炎型が46例、ポンティアック熱型が1例であった。例年の傾向と同様に、男性が43例と全体の9割を占め、中でも60~70歳代の男性が多かった。

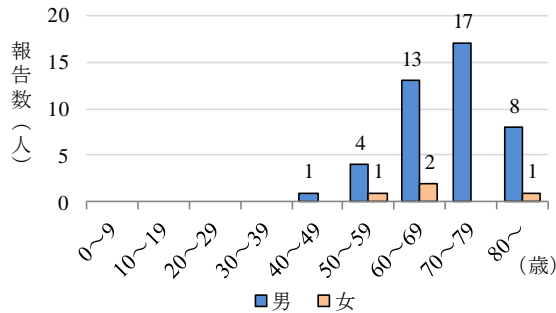




年別患者報告数



月別患者報告数(2018年)



年齢階級別患者報告数(2018年)

## 病原体情報

届出患者6例の検体(または分離菌株)の検査の結果、5例から *Legionella pneumophila* 血清群1、1例から *Legionella pneumophila* 血清群9が検出された。

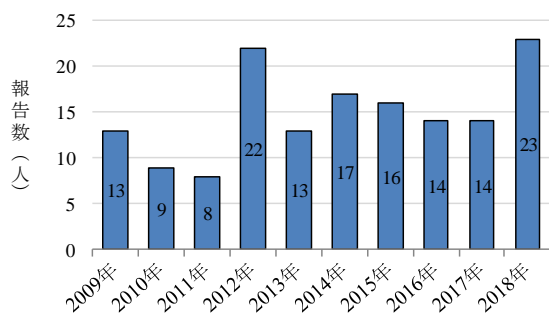
## (5) 五類感染症

アメーバ赤痢23例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、急性弛緩性麻痺13例、急性脳炎8例、クリプトスポリジウム症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症11例、後天性免疫不全症候群23例、ジアルジア症3例、侵襲性インフルエンザ菌感染症8例、侵襲性肺炎球菌感染症44例、水痘(入院例に限る)7例、梅毒77例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風2例、百日咳92例、風しん10例、麻しん1例の報告があった。

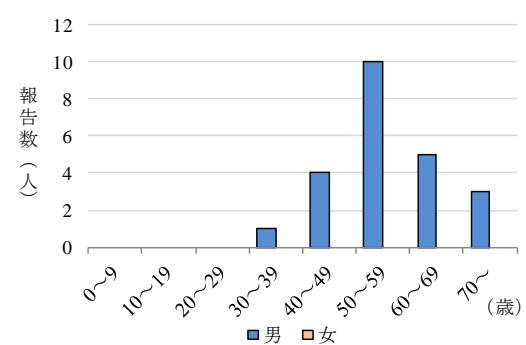
### a. アメーバ赤痢

#### 患者情報

2018年の患者報告数は23例で、報告が始まった1999年以降最多であった。患者の病型は、腸管アメーバ症が22例、腸管及び腸管外アメーバ症が1例であった。23例すべて男性で、50歳代が多かった。推定感染地は、国内19例、国外1例(パキスタン)、国内外不明3例であった。



年別患者報告数



年齢階級別患者報告数(2018年)

## b. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

### 患者情報

2018年の患者報告数は19例で、報告の始まった2014年以降最多であった（2014年報告なし、2015年8例、2016年9例、2017年13例）。患者の年齢階級は、0歳1例、20歳代1例、40歳代2例、70歳代8例、80歳以上7例であった。

### 病原体情報

届出患者19例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

表 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

菌種名	カルバペネマーゼ産生	株数
<i>Enterobacter cloacae</i>	IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Escherichia coli</i>	NDM型メタロ-β-ラクタマーゼ	1
<i>Serratia marcescens</i>	-	5
<i>Enterobacter aerogenes</i>	-	4
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	3
<i>Enterobacter cloacae</i>	-	2
<i>Escherichia coli</i>	-	1
<i>Citrobacter freundii</i>	-	1
<i>Enterobacter amnigenus</i>	-	1

## c. 急性弛緩性麻痺

### 患者情報

2018年5月1日から新たに5類感染症となり、2018年の患者報告数は13例であった。患者の年齢階級は、0歳1例、1～4歳8例、5～9歳2例、10～14歳2例であった（15歳未満が届出対象）。報告月は、9月2例、10月7例、11月2例、12月2例と、秋に多かった。

### 病原体情報

届出患者13例の検体の検査の結果、5例からウイルスが検出された。検出病原体等は下表のとおりであった。

表 急性弛緩性麻痺患者から検出された病原体と検体の種類

報告月	検出病原体（遺伝子検出を含む）	検体の種類
9月	エンテロウイルスD68	咽頭ぬぐい液
10月	エンテロウイルスD68	髄液
10月	エコーウイルス11型	糞便・咽頭ぬぐい液
10月	エコーウイルス11型	血清・糞便・咽頭ぬぐい液
10月	コクサッキーウイルスB4型、アデノウイルス2型	糞便・咽頭ぬぐい液

## d. 急性脳炎

### 患者情報

2018年の患者報告数は8例で、2003年11月に全数報告が始まって以降最多であった。患者の年齢階級は、0歳2例、1～4歳3例、5～9歳2例、20歳代1例であった。報告月は、4月2例、5月1例、8月2例、9月1例、10月1例、12月1例であった。届出時点の情報として、8月報告の1例はアデノウイルス、12月の1例はインフルエンザウイルスA型によるものとの記載があった。

### 病原体情報

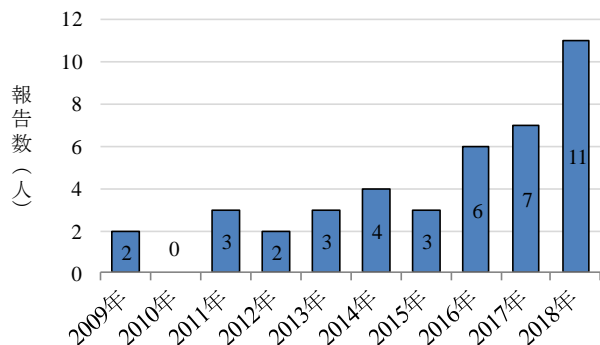
届出患者4例の検体の検査の結果、2例からウイルスが検出された。ヒトパレコウイルス3型

が1例（8月報告例、上記アデノウイルスの症例とは別症例）、ライノウイルスが1例（4月報告例）であった。

### e. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

#### 患者情報

2018年の患者報告数は11例で、報告が始まった1999年以降最多であった。11例中6例が届出時に死亡していた。溶血性レンサ球菌の血清群は、A群が9例、G群が2例であった。患者の年齢階級は、20歳代、30歳代、40歳代が各1例、60歳代、70歳代が各3例、80歳代、90歳代が各1例と、60歳以上が多かった。



年別患者報告数

#### 病原体情報

届出患者8例の分離菌株の同定検査等の結果は下表のとおりであった。

表 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者から分離された菌株の同定結果等

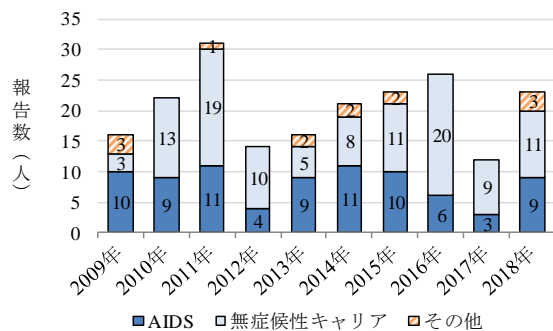
菌種名	株数
<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	6
<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型	1
<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1

### f. 後天性免疫不全症候群

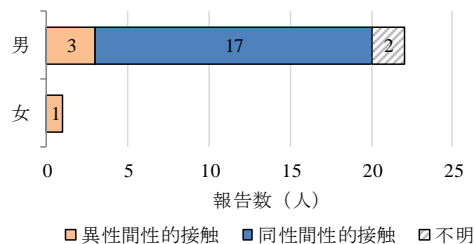
#### 患者情報

2018年の患者報告数は23例で、昨年より増加したが、2014～2016年と同程度であった。

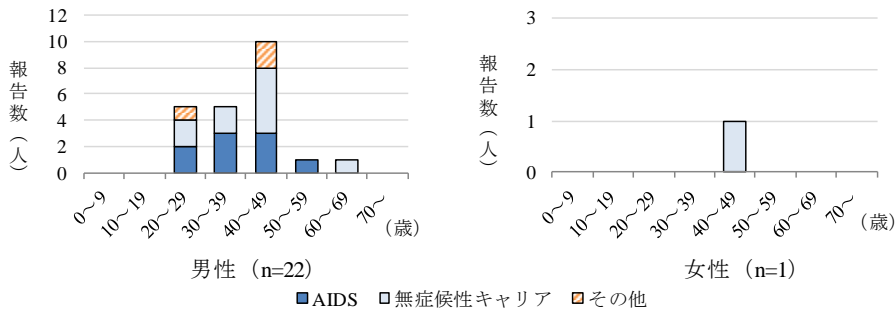
病型別では、AIDSが9例、無症候性キャリアが11例、その他が3例であった。男性が22例（日本国籍17例、外国籍4例、国籍不明1例）、女性が1例（外国籍）であった。男性は40歳代が最も多かったが、20歳代のAIDSも2例報告された。感染経路は、男性では同性間性的接触が17例、異性間性的接触が3例、不明が2例、女性1例は異性間性的接触であった。



年別患者報告数



感染経路別患者報告数（2018年）

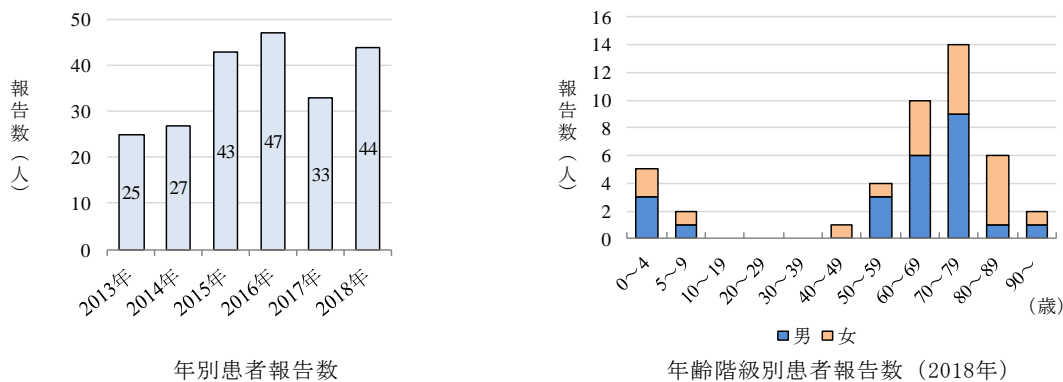


性別・年齢階級別・病別患者報告数 (2018年)

### g. 侵襲性肺炎球菌感染症

#### 患者情報

2018年の患者報告数は44例で、2015年、2016年と同程度であった。男性24例、女性20例で、年齢は60歳以上が全体の72.7%を占めた。10歳未満の7例のワクチン接種歴は、4回接種が5例、接種歴なしが1例、不明が1例であった。65歳以上の29例のワクチン接種歴は、1回接種が2例、2回接種が1例、接種歴なしが10例、不明が16例であった。

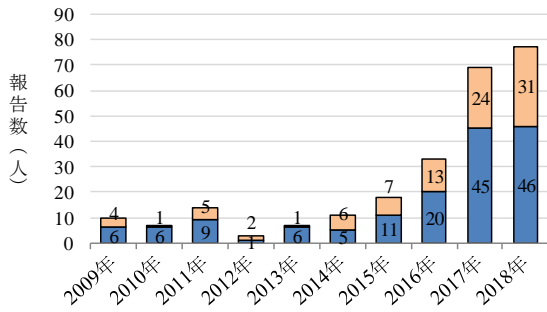


### h. 梅毒

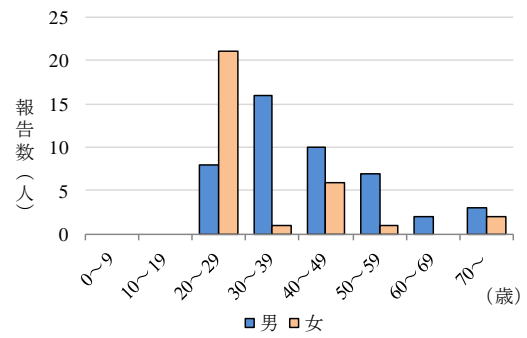
#### 患者情報

2018年の患者報告数は77例で、前年(69例)よりさらに増加し、報告の始まった1999年以降最多であった。

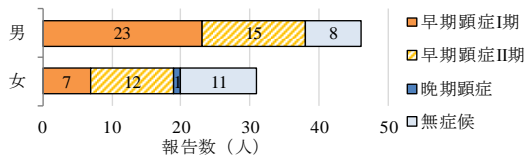
男性46例、女性31例で、前年と比べて女性の割合が増加し(2018年:40.2%、2017年:34.8%)、特に20歳代の増加が目立った。病型別では、比較的最近の感染を示す早期顕症梅毒(I期およびII期)が男性の82.6%、女性の61.3%を占めた。感染経路も前年同様に、男女とも異性間性的接触によるものが多かった。



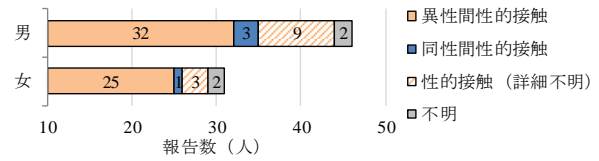
年別・性別患者報告数



性別・年齢階級別患者報告数 (2018年)



病型別患者報告数 (2018年)

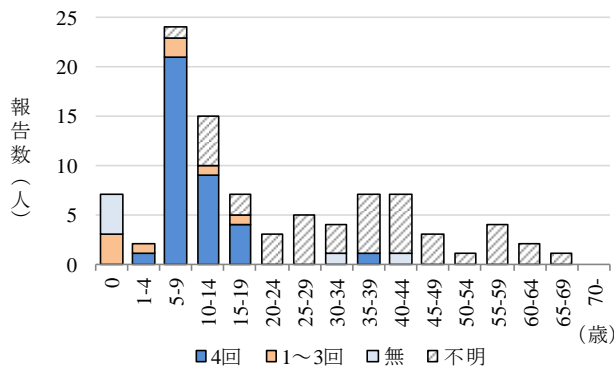


感染経路別患者報告数 (2018年)

## i. 百日咳 患者情報

2018年1月1日から定点把握対象から全数把握対象に変更となり、2018年の患者報告数は92例であった。

年齢階級別では、5~9歳が24例、10~14歳が15例と多く、5~14歳で全体の42.4%を占めた。また、0歳の患者は7例報告された。ワクチン接種歴は、現行の定期接種の規定回数である4回接種が36例(39.1%)、1~3回接種が8例(8.7%)、接種歴なしが6例(6.5%)、不明が42例(45.7%)であった。5~14歳の患者に限定すると、76.9%に4回の接種歴があった。



年齢階級別・ワクチン接種歴別患者報告数 (2018年)

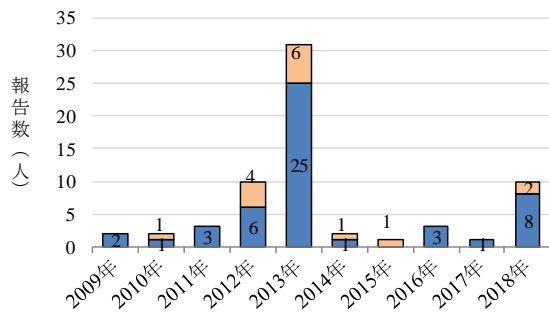
## j. 風しん 患者情報

2018年は10例の報告があり、全国の流行に伴い前年より増加した。すべて検査診断例であった。男性8例、女性2例で、全国の傾向と同様に30~50歳代の男性が中心であった。ワクチン接種歴は、なしが4例、不明が6例であった。

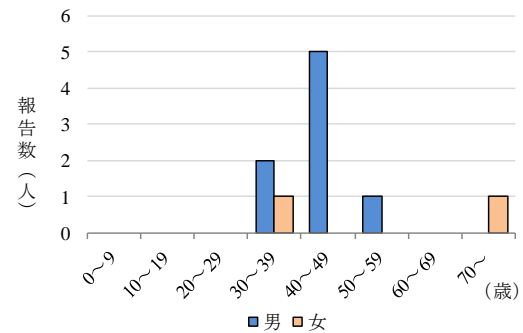
### 病原体情報

風しんの届出患者9例の検体を検査した結果、7例から風しんウイルス遺伝子が検出され、遺

伝子型は7例すべてIEであった。



年別・性別患者報告数



性別・年齢階級別患者報告数 (2018年)

## k. 麻しん

### 患者情報

2018年は1例の報告があった。40歳代の男性で、検査診断例であった。推定感染地域はタイ（日本に帰国する航空機内で麻しん患者と接触。）であった。ワクチン接種歴は不明であった。

### 病原体情報

患者の検体を検査した結果、麻しんウイルス遺伝子が検出され、遺伝子型はD8であった。

## 2 定点把握対象の五類感染症

### (1) インフルエンザ定点

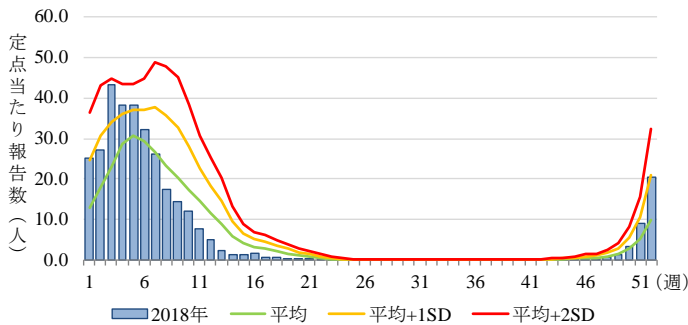
#### a. インフルエンザ

##### 患者情報

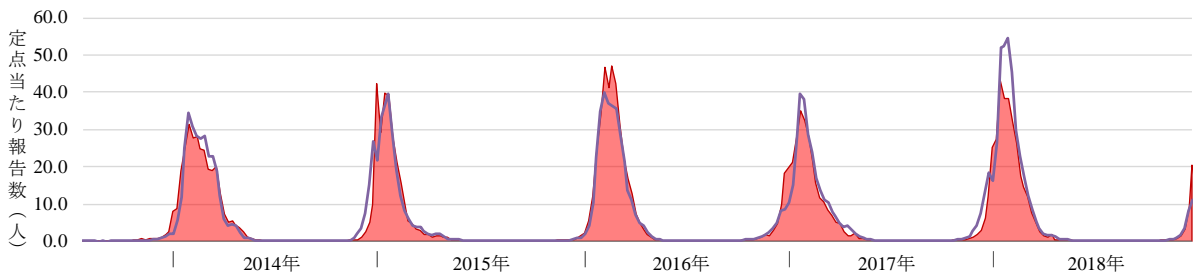
2018年の累積患者報告数は28,975人（定点当たり333.49人）で、前年（定点当たり287.66人）と比べて増加した。

2017/18シーズンは、2017年第48週（11/27～12/3）に定点当たり1人を上回り流行入りした。第51週（12/18～24）以降患者報告数は急増し、2018年第3週（1/15～21）に定点当たり43.14人とピークとなり、第5週（1/29～2/4）まで高い値で推移した後、第6週（2/5～11）以降は減少に転じた。

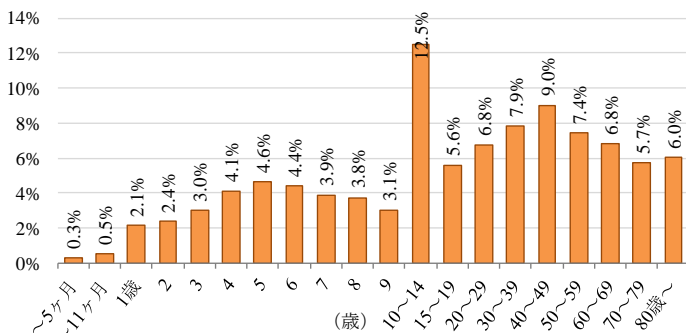
2018/19シーズンは、2018年第49週（12/3～9）に定点当たり1人を上回り流行入りした。年齢階級別では0～4歳が全体の12.5%、5～9歳が19.8%、10～14歳が12.5%を占めた。



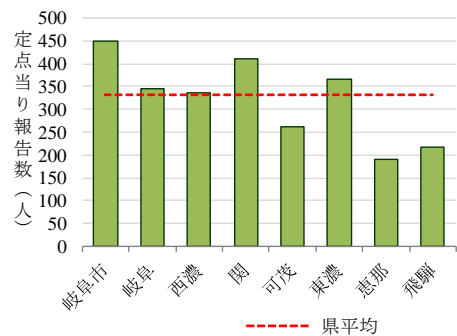
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



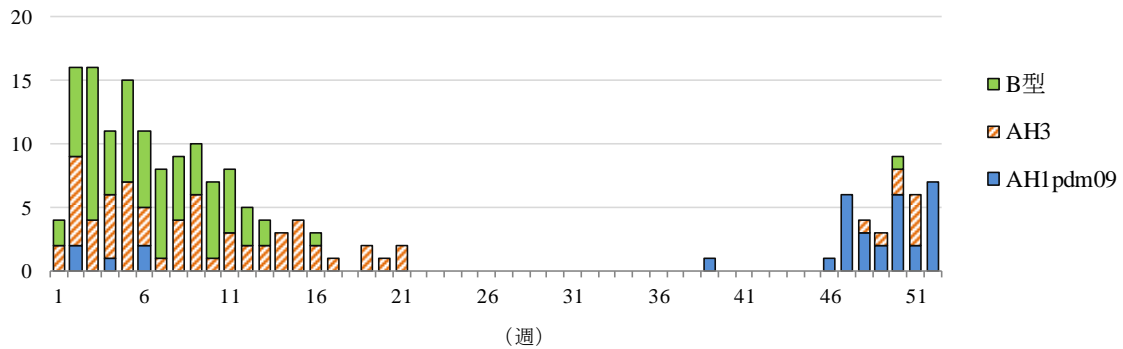
年齢階級別割合(2018年累積)



保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

### 病原体情報

インフルエンザ患者 180 例の検体を検査した結果、175 例からインフルエンザウイルスが検出された。型・亜型の内訳は、AH1pdm09 が 33 例、AH3 が 70 例、B 型が 74 例であった（AH1 pdm09 と B 型、AH3 と B 型の重複検出各 1 例を含む）。2017/18 シーズンの流行期には AH3 と B 型が同程度検出され、2018/19 シーズン初めは AH1pdm09 が主流であった。



週別・型別検出状況

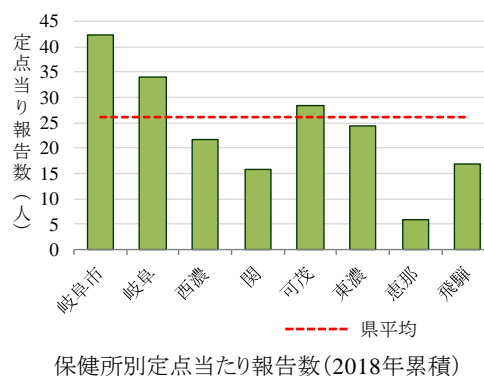
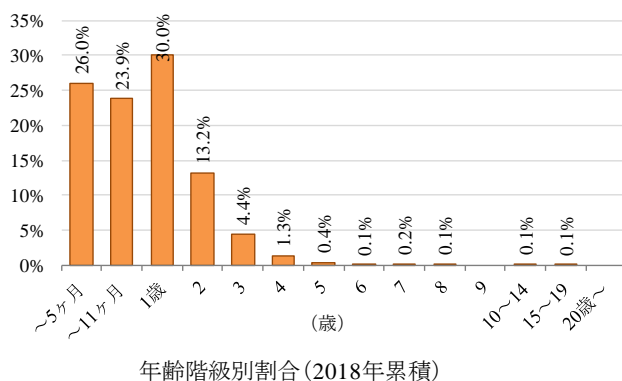
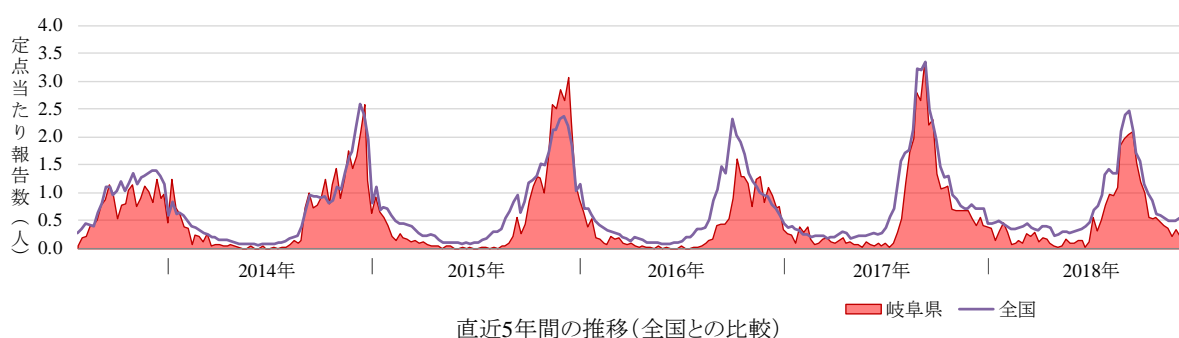
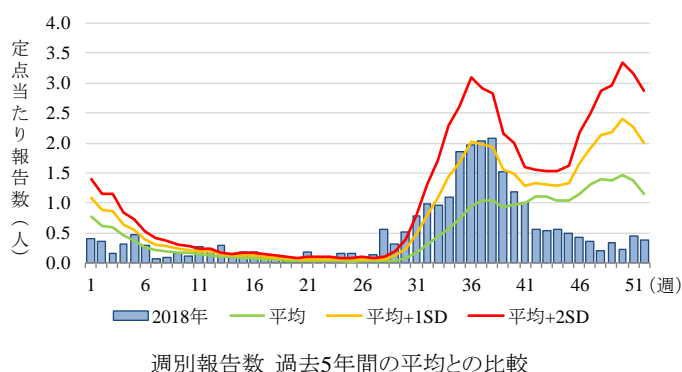


## (2) 小児科定点

### a. RSウイルス感染症

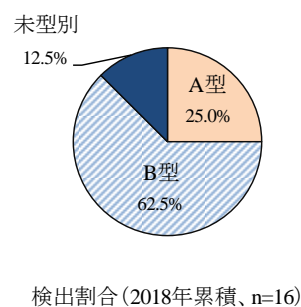
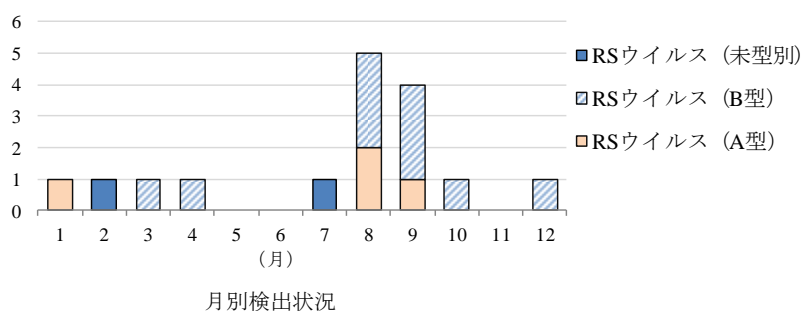
#### 患者情報

2018年の累積患者報告数は1,382人（定点当たり26.14人）で、前年（定点当たり33.32人）と比べて減少した。第28週（7/9～15）から患者報告数が増加し始め、第38週（9/17～23）に定点当たり2.09人とピークとなった。ピークの時期は昨年とほぼ同時期で（昨年は第37週）、ピークの高さは昨年より低かった。



#### 病原体情報

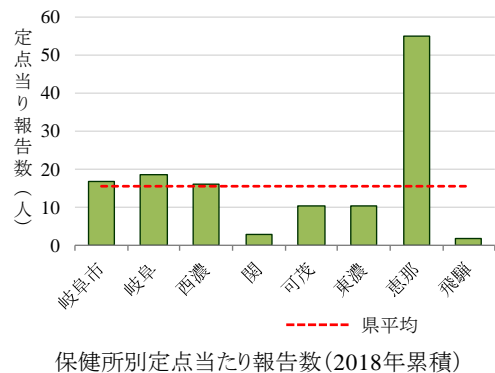
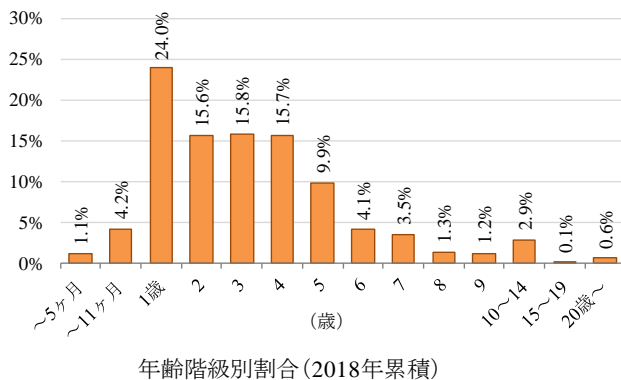
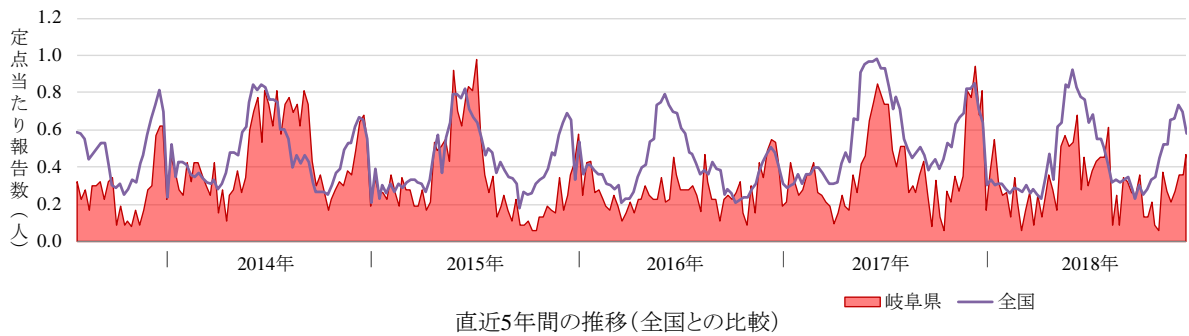
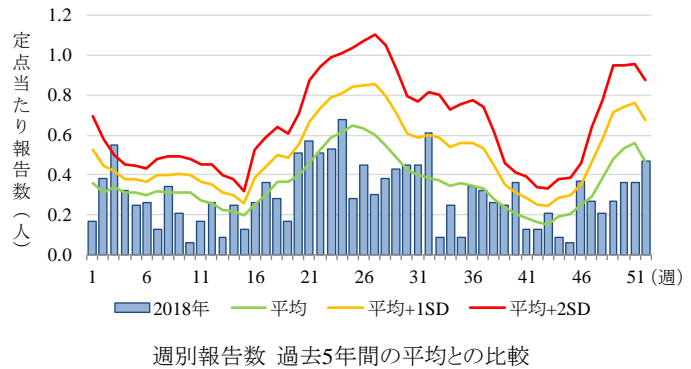
RSウイルス感染症患者17例の検体を検査した結果、16例からRSウイルスが検出された。ウイルスの血清型別はA型が4例、B型が10例、未型別が2例であった。



**b. 咽頭結膜熱**

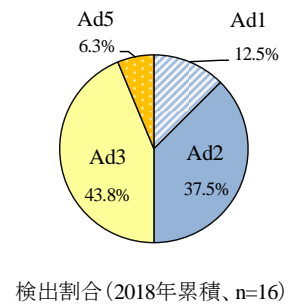
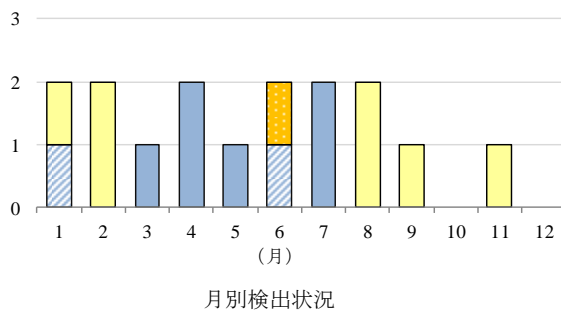
**患者情報**

2018年の累積患者報告数は829人(定点当たり15.68人)で、前年(定点当たり20.31人)と比べて減少した。第20～32週(5/14～8/12)に患者報告数の増加がみられた。第46週(11/12～18)以降再び増加がみられたが、冬季の流行は昨年と比べて小さかった。年齢階級別では例年と同様に1～4歳が多く、1～4歳で全体の71.0%を占めた。



**病原体情報**

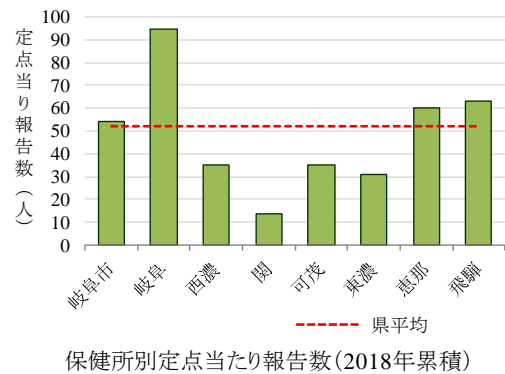
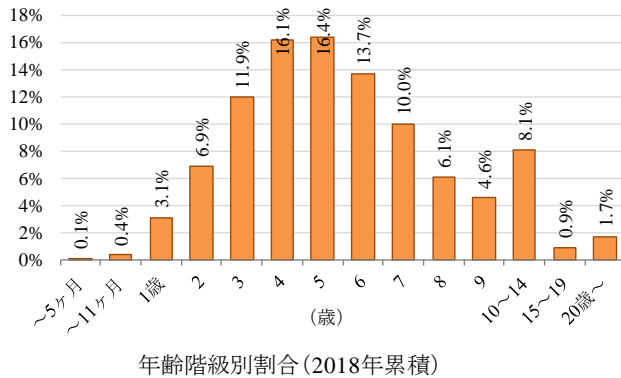
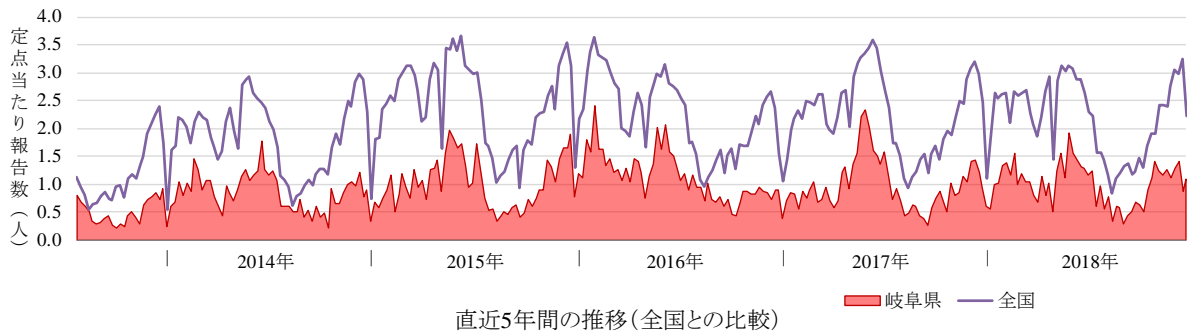
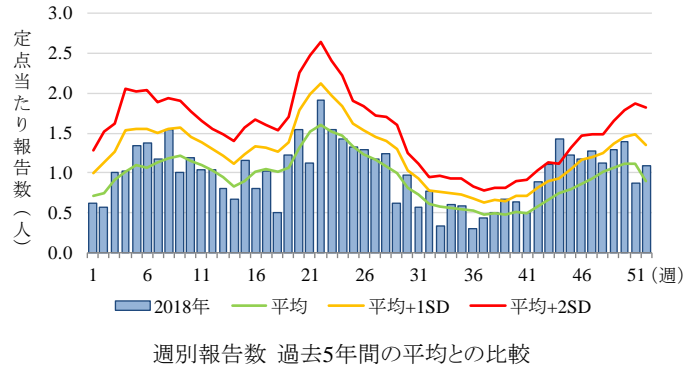
咽頭結膜熱患者18例の検体を検査した結果、16例からアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、1型が2例、2型が6例、3型が7例、5型が1例であった。



### c. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

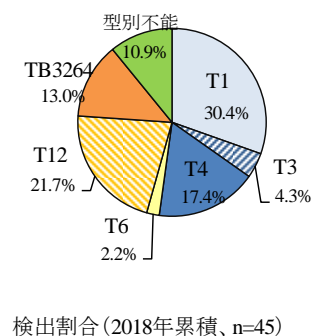
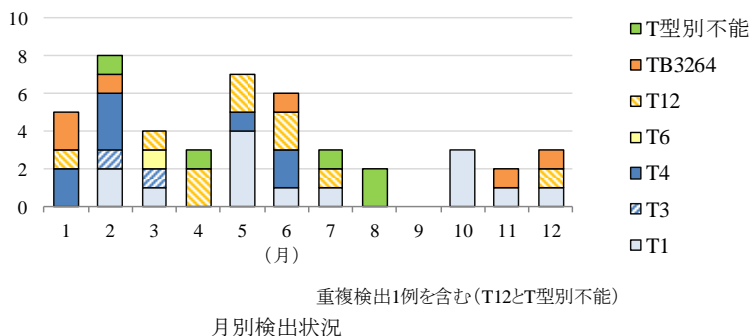
#### 患者情報

2018年の累積患者報告数は2,757人（定点当たり52.15人）で、前年（定点当たり50.10人）と同程度であった。2～3月、5～7月、10～12月に患者報告数の増加がみられた。年齢階級別では、例年と同様に、5歳をピークに幅広い年齢層の患者が報告された。



#### 病原体情報

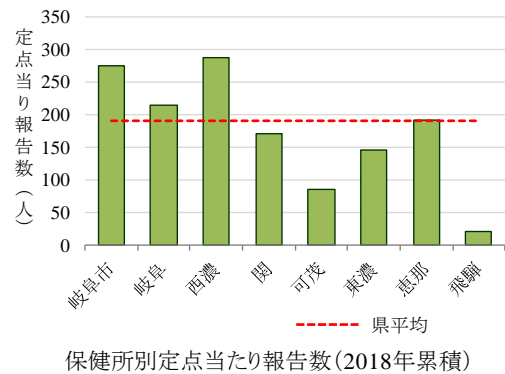
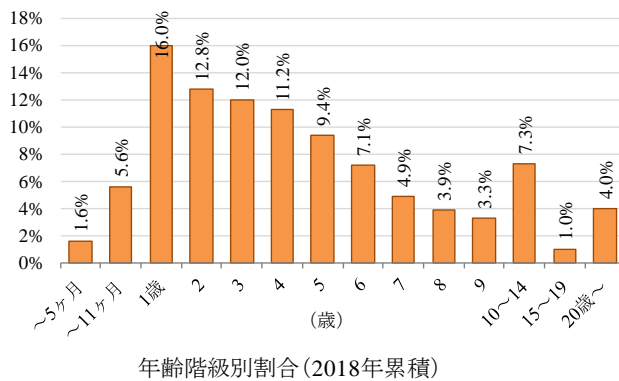
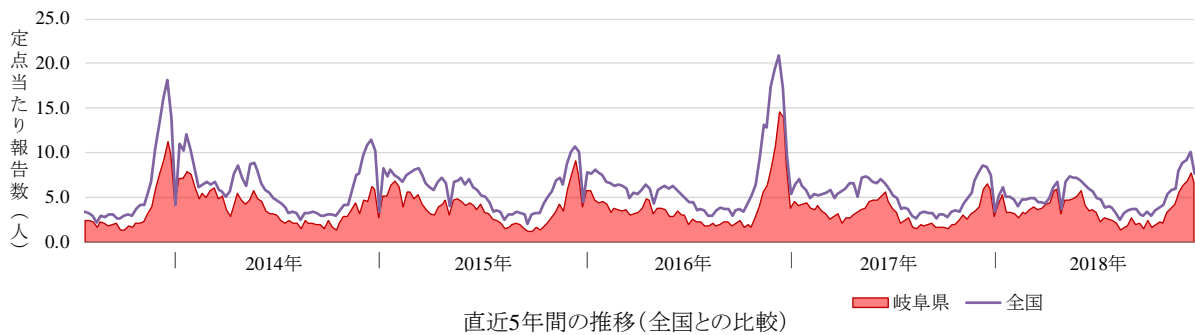
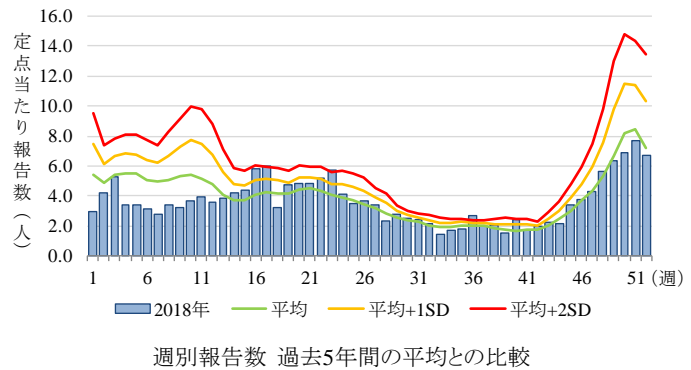
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者47例の検体を検査した結果、45例から *Streptococcus pyogenes* がされ、T型別はT1が14例、T3が2例、T4が8例、T6が1例、T12が10例、TB3264が6例、T型別不能が5例であった（重複検出1例を含む）。



## d. 感染性胃腸炎

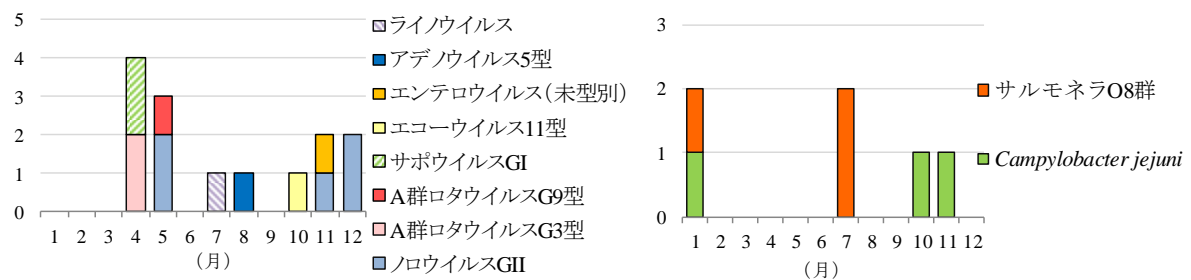
### 患者情報

2018年の累積患者報告数は10,106人（定点当たり191.16人）で、前年（定点当たり172.14人）より増加した。春～初夏の第16～24週（4/16～6/17）に患者報告数の増加がみられ、冬季は第45週（11/5～11）以降年末にかけて増加した。



### 病原体情報

感染性胃腸炎患者38例の検体を検査した結果、13例からウイルス、6例から細菌が検出された。ウイルスは、4～5月にはA群ロタウイルスやサポウイルス、11～12月にはノロウイルスGIIが主に検出された他、アデノウイルス、エコーウイルスなどが検出された。細菌は、サルモネラO8群、*Campylobacter jejuni*が各3例検出された。

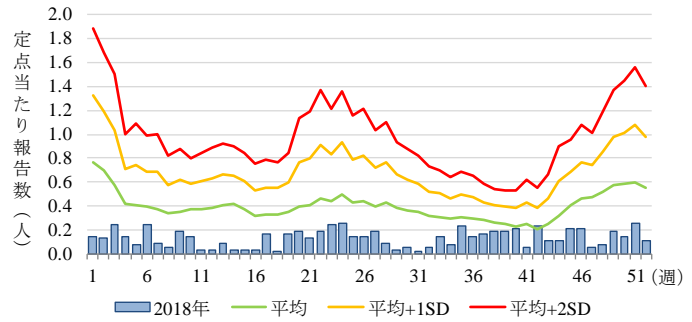


重複検出1例を含む(ノロウイルスGIIとエンテロウイルス(未型別))

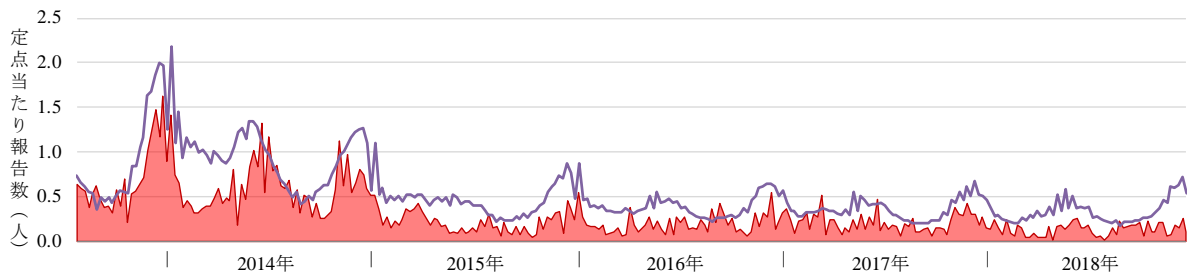
## e. 水痘

### 患者情報

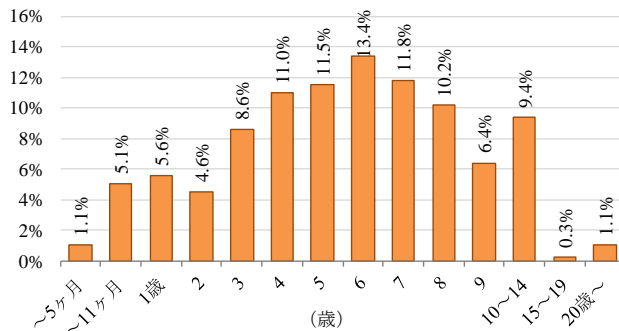
2018年の累積患者報告数は373人(定点当たり7.06人)で、前年(定点当たり11.15人)と比べて減少した。2014年10月にワクチンが定期接種となって以降患者報告数は減少し、2018年も年間を通じて低いレベルで推移した。年齢階級別では、6歳をピークに4～8歳が多かった。



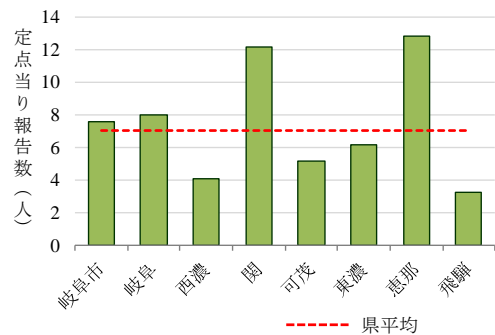
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)



保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

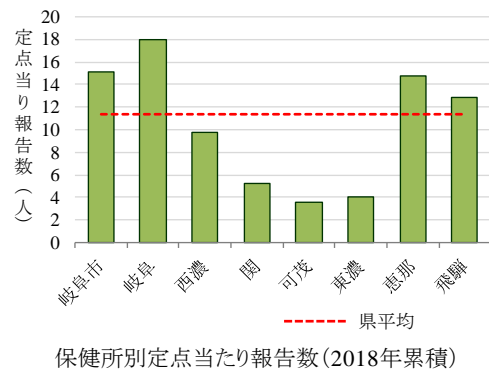
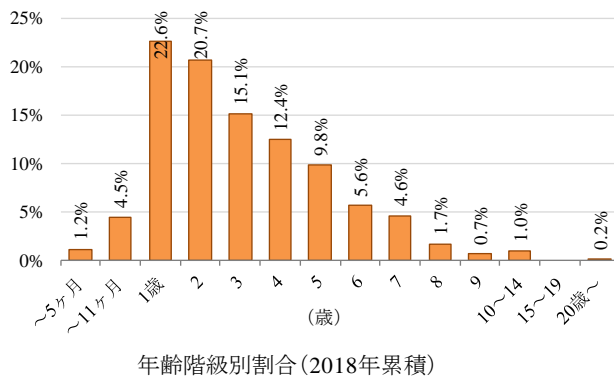
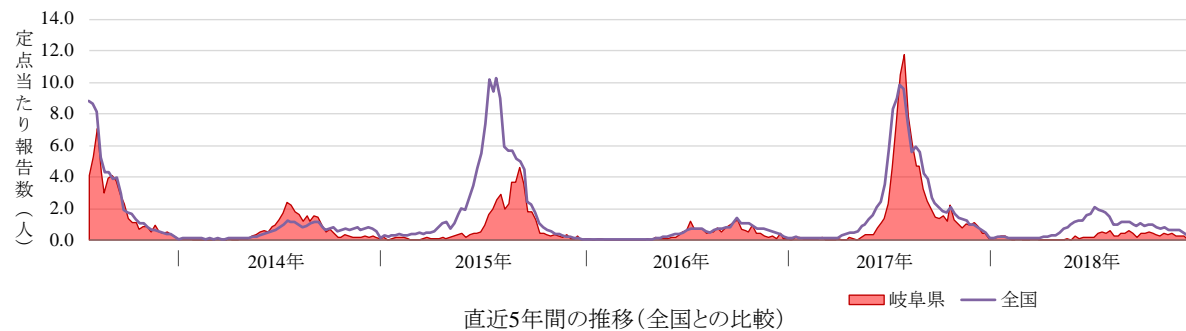
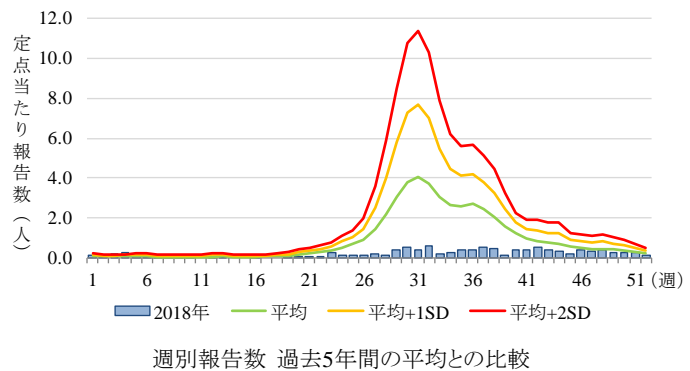
### 病原体情報

水痘患者4例の検体を検査した結果、5例すべてから水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。

## f. 手足口病

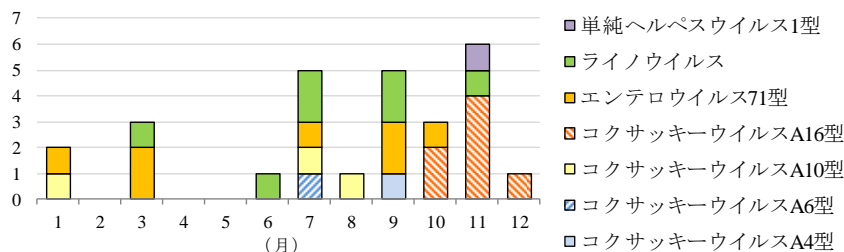
### 患者情報

2018年の累積患者報告数は603人(定点当たり11.41人)で、前年(定点当たり88.47人)と比べて大きく減少した。第23週(6/4~10)頃から患者報告数が増加し、年末にかけて患者の報告がみられたが、目立った流行はなく、患者報告数は過去5年で最も少なかった。年齢階級別では、1歳が最も多かった。

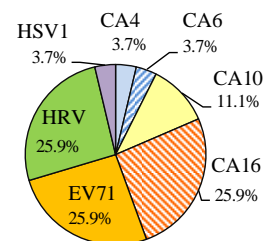


### 病原体情報

手足口病患者22例の検体を検査した結果、20例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA4型が1例、同A6型が1例、同A10型が3例、同A16型が7例、エンテロウイルス71型が7例、ライノウイルスが7例、単純ヘルペスウイルス1型が1例であった(重複検出7例を含む)。



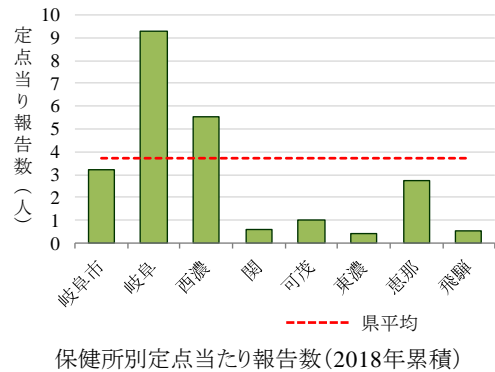
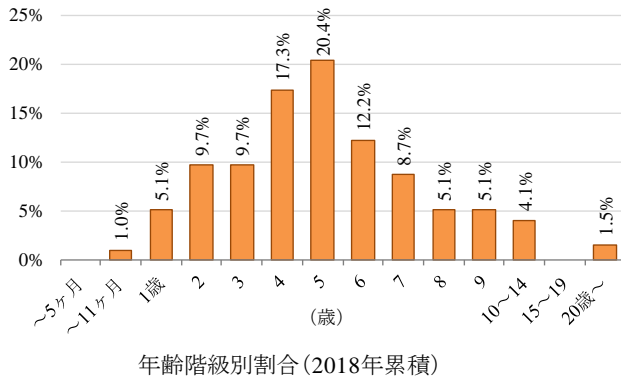
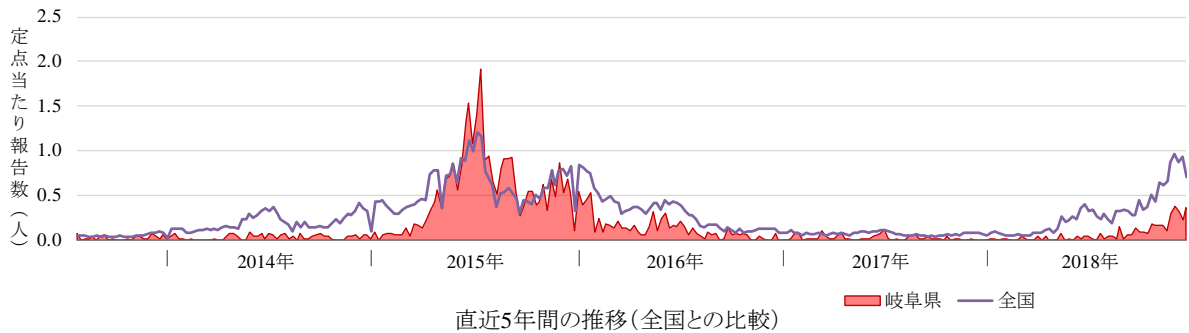
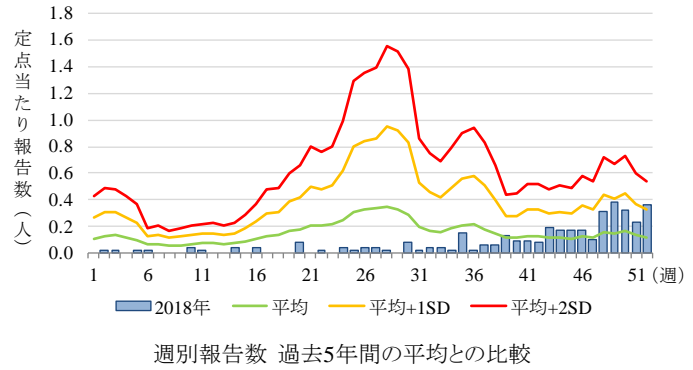
重複検出7例を含む(EV71とライノウイルス:2例、CA4とライノウイルス:1例、CA6とライノウイルス:1例、CA10とライノウイルス:1例、CA16とライノウイルス:1例、CA16と単純ヘルペスウイルス1型:1例)



## g. 伝染性紅斑

### 患者情報

2018年の累積患者報告数は196人(定点当たり3.71人)で、前年(定点当たり1.37人)と比べて増加した。第35週頃から、全国に遅れる形で徐々に患者報告数が増加した。年齢階級別では、5歳をピークに幅広い年齢の小児で報告された。



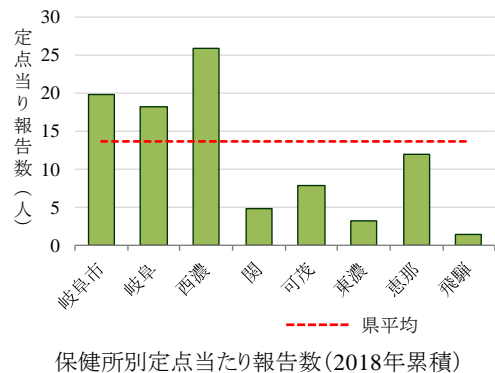
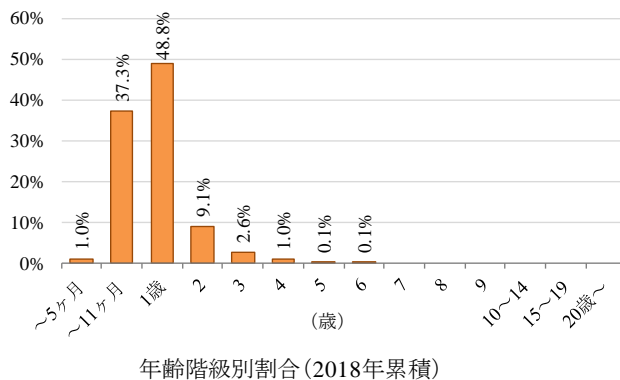
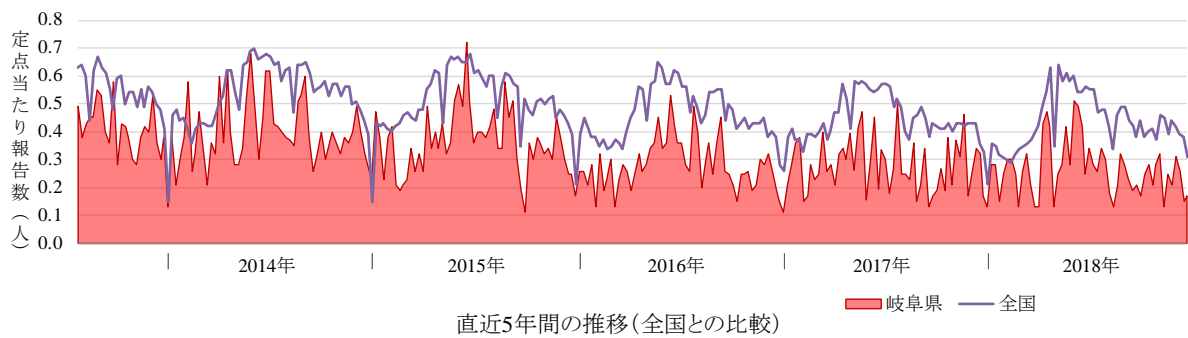
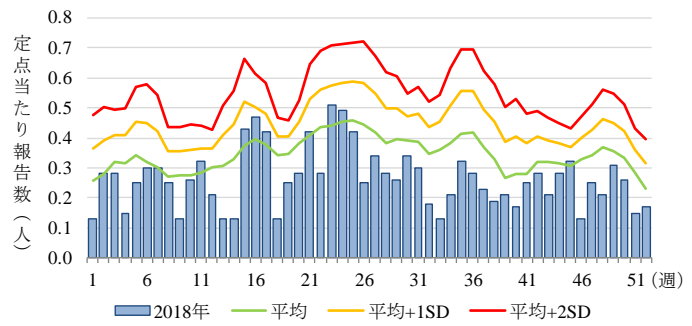
### 病原体情報

伝染性紅斑患者5例の検体を検査した結果、4例からパルボウイルス B19 が検出された。

## h. 突発性発しん

### 患者情報

2018年の累積患者報告数は727人(定点当たり13.75人)で、前年(定点当たり14.50人)と同程度であった。年間を通じて患者の報告があった。年齢階級別では、例年と同様に6ヵ月～1歳が全体の86.1%と大部分を占めた。



### 病原体情報

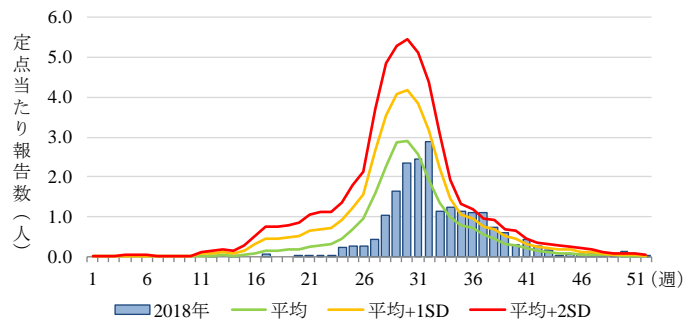
突発性発しん患者10例の検体を検査した結果、9例からヒトヘルペスウイルス6型が検出された。



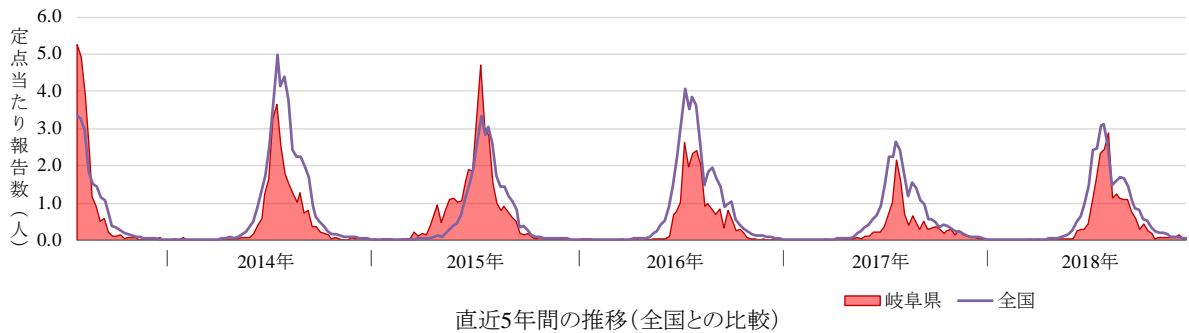
## i. ヘルパンギーナ

### 患者情報

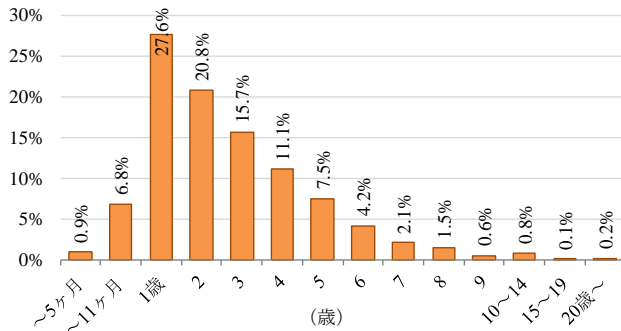
2018年の累積患者報告数は1,089人（定点当たり20.60人）で、前年（定点当たり12.92人）と比べて増加した。第24週（6/11～17）から患者報告数が増加し、第32週（8/6～12）にピークとなった。年齢階級別では、例年と同様に1歳で最も多かった。



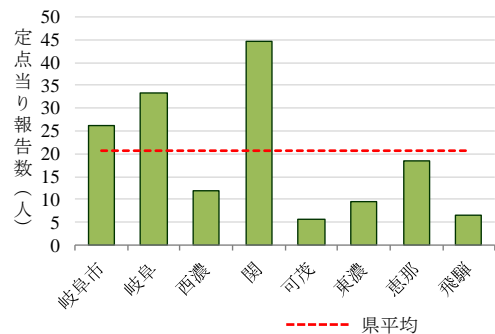
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



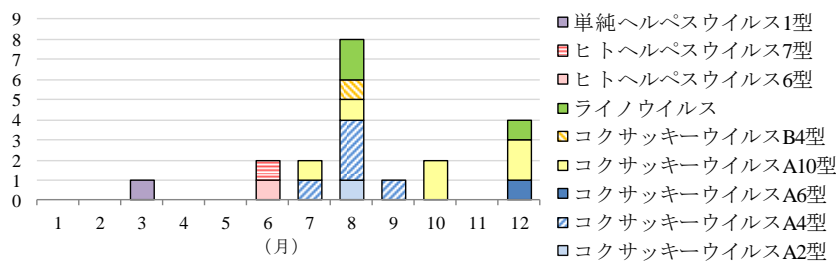
年齢階級別割合(2018年累積)



保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

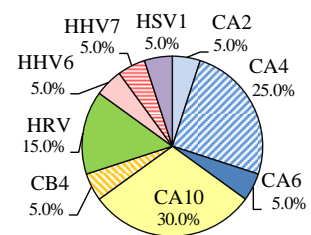
### 病原体情報

ヘルパンギーナ患者16例の検体を検査した結果、16例すべてからウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA2型が1例、同A4型が5例、同A6型が1例、同A10型が6例、コクサッキーウイルスB4型が1例、ライノウイルスが3例、ヒトヘルペスウイルス6型および7型が各1例、単純ヘルペスウイルス1型が1例であった（重複検出4例を含む）。



重複検出4例を含む(CA4とCA10、CA2とライノウイルス、CA10とライノウイルス、CB4とライノウイルス)

月別検出状況

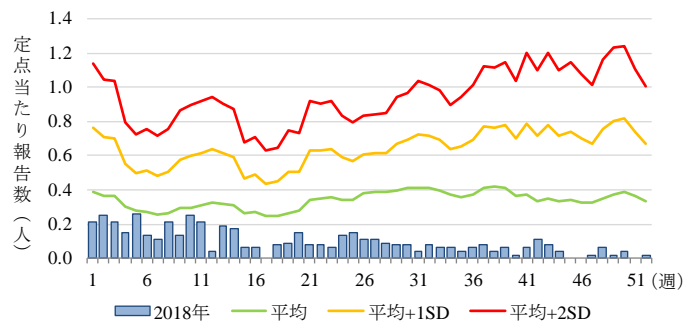


検出割合(2018年累積、n=16)

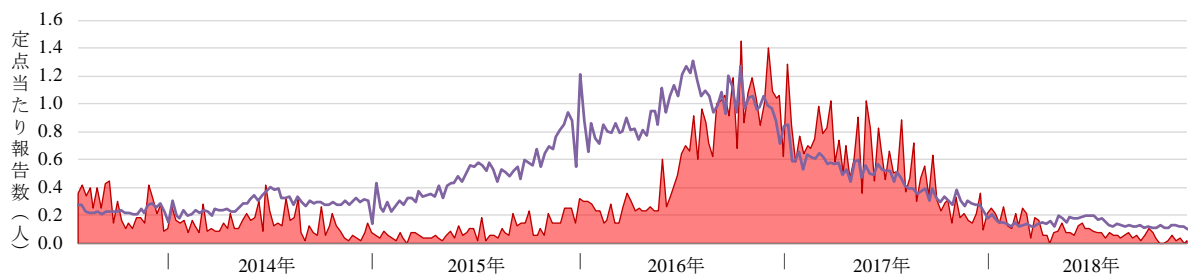
## j. 流行性耳下腺炎

### 患者情報

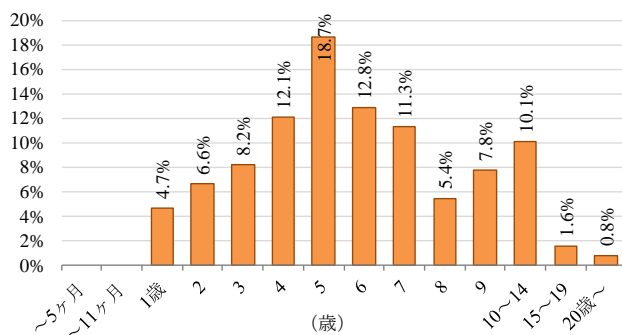
2018年の累積患者報告数は257人(定点当たり4.86人)で、前年(定点当たり29.10人)と比べて大きく減少した。2016～2017年の流行が収束に向かい、患者報告数は緩やかに減少した。年齢階級別では、流行がみられた前年同様に、5歳をピークとして幅広い年齢層の患者が報告された。



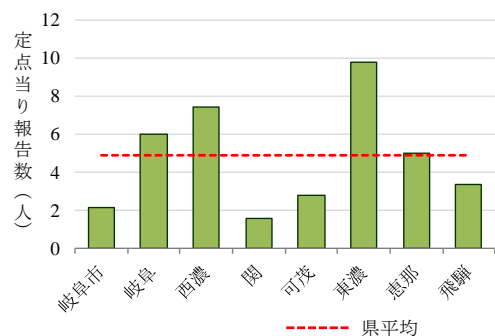
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)



保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

### 病原体情報

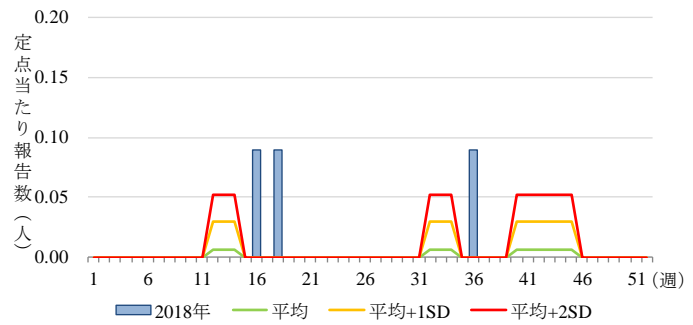
流行性耳下腺炎患者7例の検体を検査した結果、4例からムンプスウイルスが検出された。

### (3)眼科定点

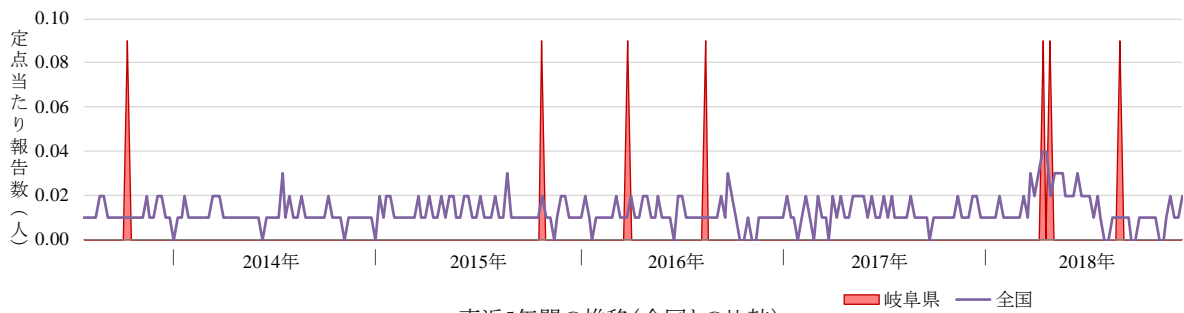
#### a. 急性出血性結膜炎

##### 患者情報

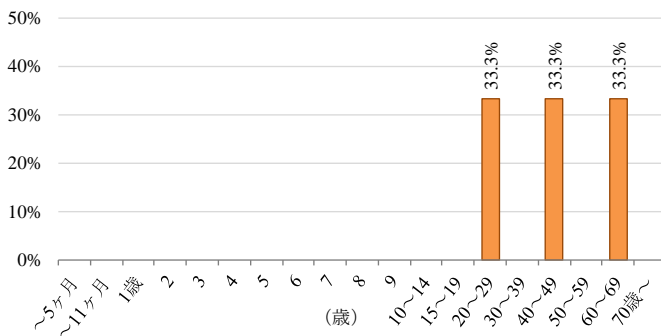
2018年の累積患者報告数は3例（定点当たり0.27人）であった。患者は20歳代、40歳代、60歳代が各1例であった。直近5年では、2015年に1人、2016年に2人報告があったのみで、流行はみられていない。



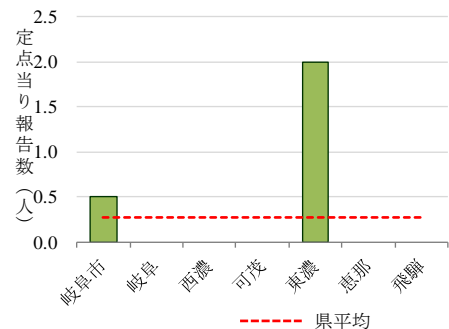
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

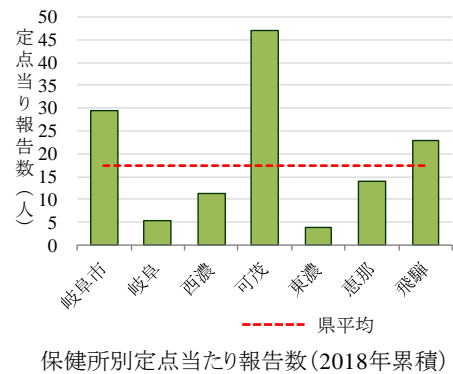
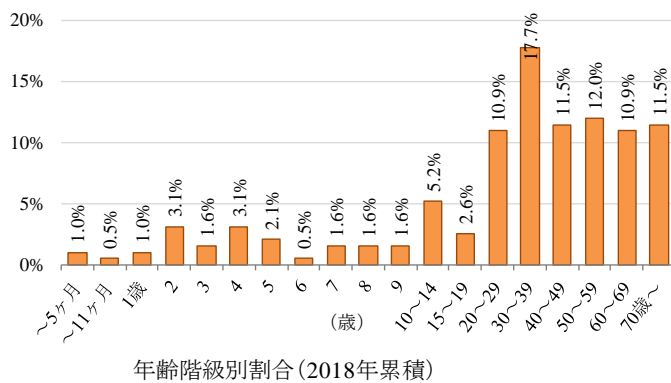
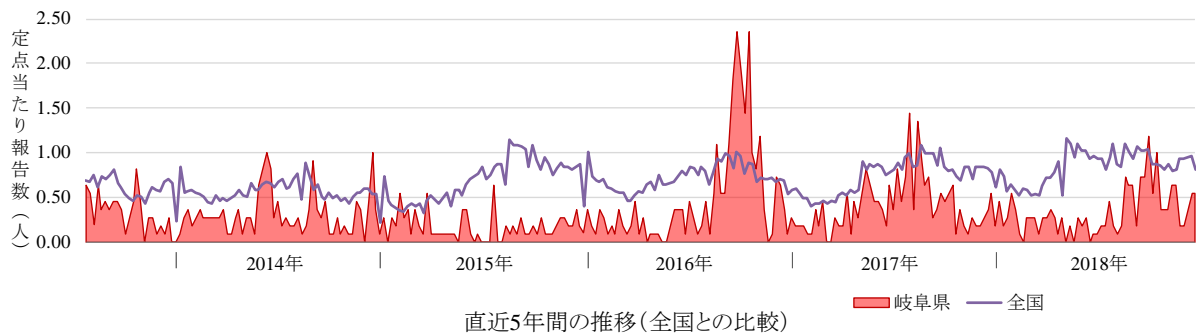
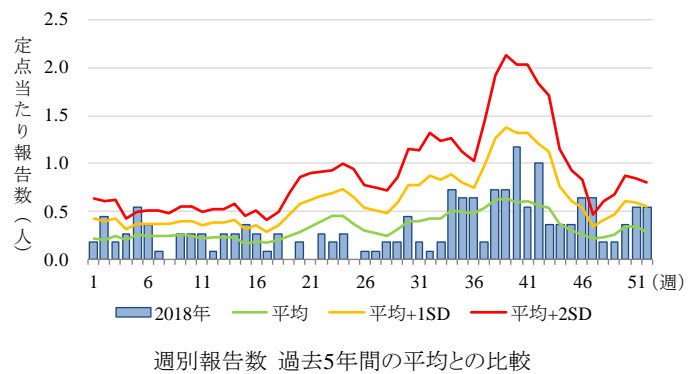


保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

## b. 流行性角結膜炎

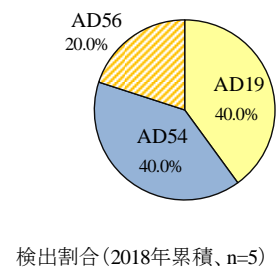
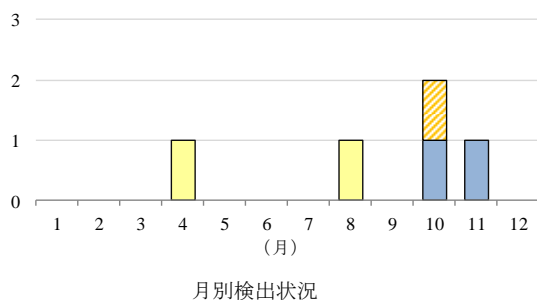
### 患者情報

2018年の累積患者報告数は192人(定点当たり17.45人)で、前年(定点当たり21.27人)と比べて減少した。第34～47週(8/20～11/25)に患者報告数の増加がみられた。年齢階級別では、10歳未満の小児が全体の17.8%であったが、成人も幅広い年齢層で患者が報告された。



### 病原体情報

流行性角結膜炎患者5例の検体を検査した結果、5例すべてからアデノウイルスが検出された。型別の内訳は、19型、54型、56型が各1例であった。



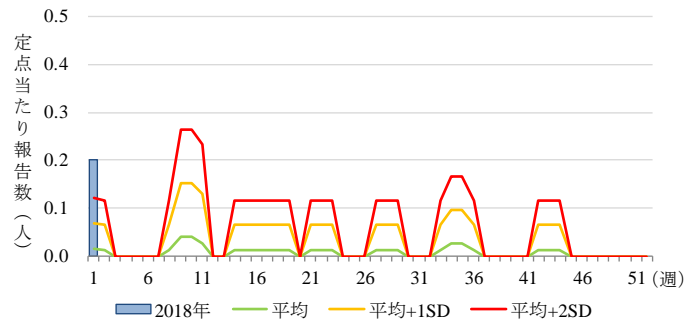
#### (4) 基幹定点

a. 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）

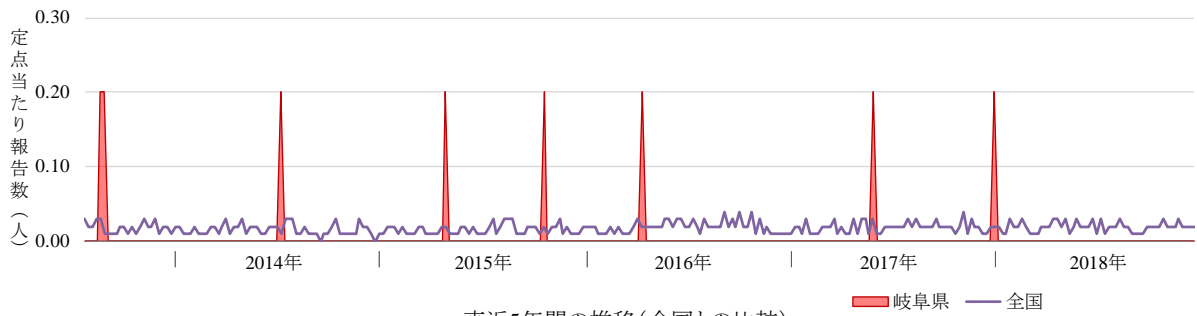
##### 患者情報

2018年の累積患者報告数は1人（定点当たり0.20人）で、前年（定点当たり0.20人）と同程度であった。患者の年齢は0歳であった。

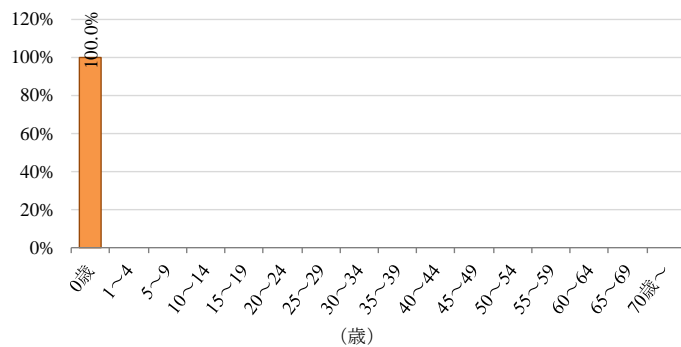
2013年4月1日に髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因とする髄膜炎が全数把握対象の五類感染症に指定され本疾患の対象外となって以降、本疾患の患者報告数は減少した。



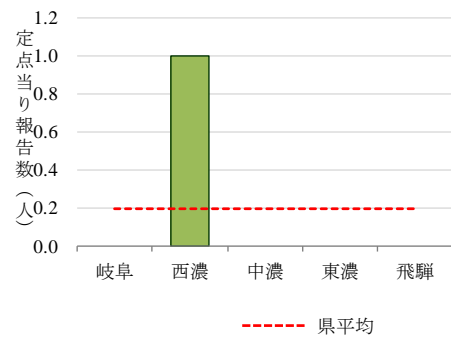
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

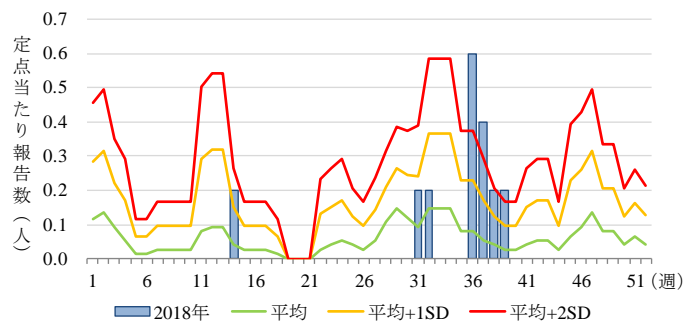


圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

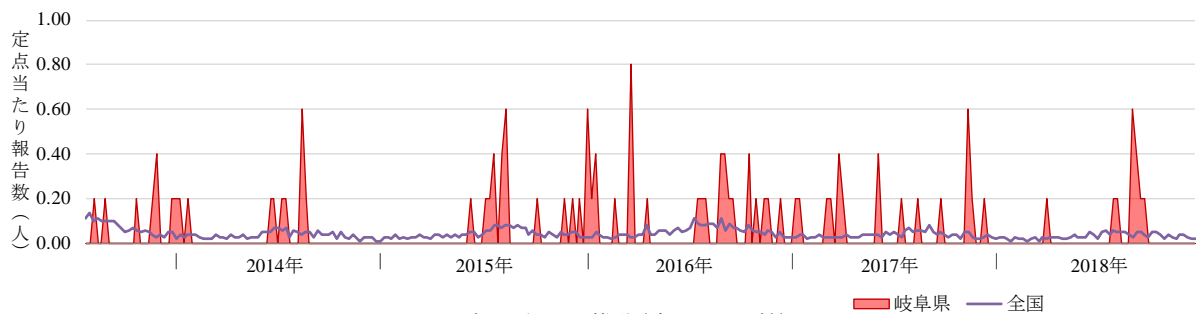
## b. 無菌性髄膜炎

### 患者情報

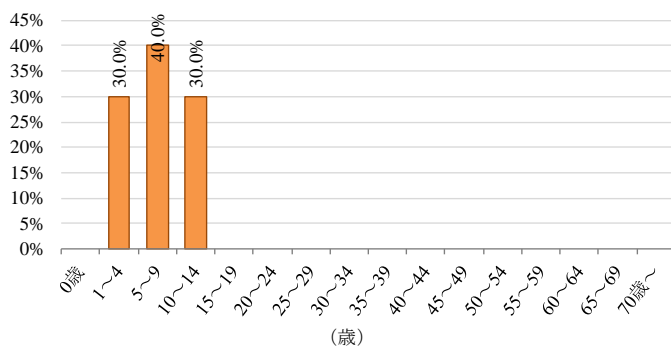
2018年の累積患者報告数は10人（定点当たり2.00人）で、前年（定点当たり3.40人）より減少した。第36～39週（9/3～9/30）に患者の集積がみとめられた。患者の年齢階級は、1～4歳が3例、5～9歳が4例、10～14歳が3例であった。



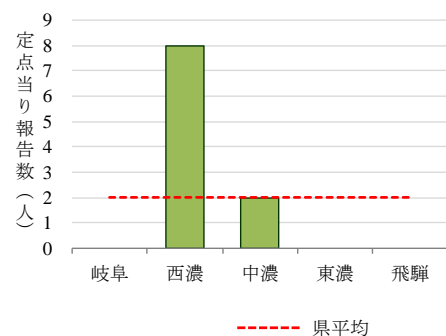
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)



圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

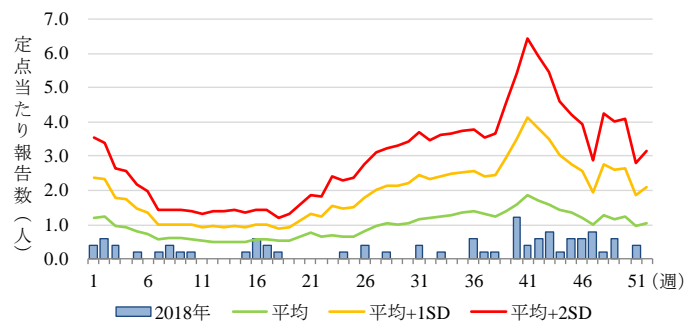
### 病原体情報

無菌性髄膜炎患者9例の検体を検査した結果、5例からウイルスが検出された。その内訳は、エコーウイルス11型が2例、同6型が1例、アデノウイルス41型が1例、ライノウイルスが1例であった。

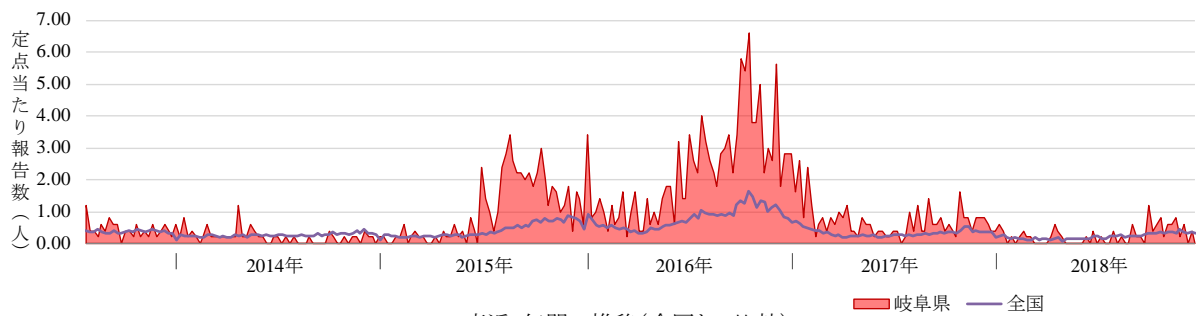
### c. マイコプラズマ肺炎

#### 患者情報

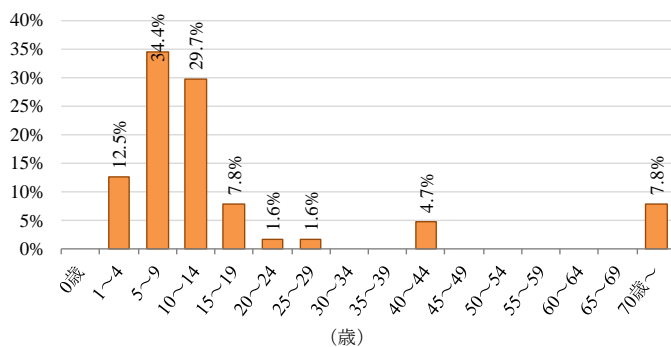
2018年の累積患者報告数は64人(定点当たり12.80人)で、前年(定点当たり38.60人)と比べて減少した。年間を通じて少ない報告数で推移した。年齢階級別では例年と同様に15歳未満が多く、5～9歳が全体の34.3%、10～14歳が29.7%を占めた。



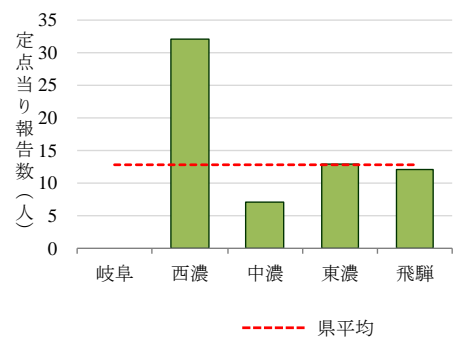
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

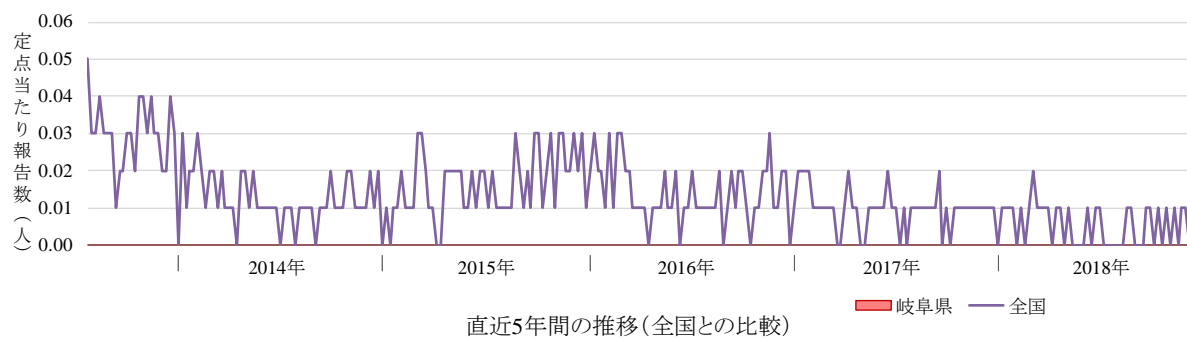


圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

d. クラミジア肺炎（オウム病を除く。）

**患者情報**

2018年、患者の報告はなかった。過去5年間、県内での患者の報告はなく、全国でも2014年以降低いレベルで推移している。

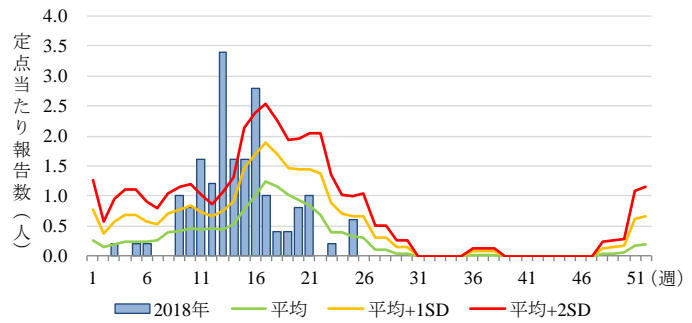




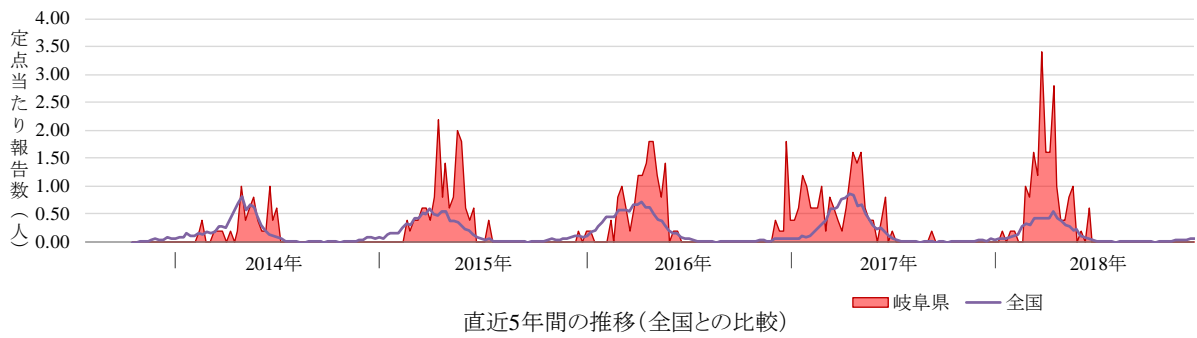
e. 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

患者情報

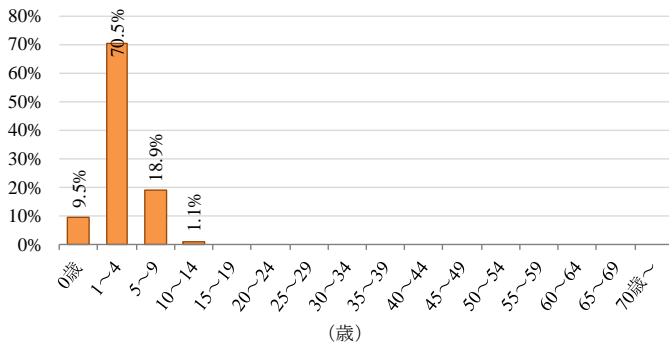
2018年の累積患者報告数は95人（定点当たり19.00人）で、前年（定点当たり18.00人）と同程度であった。第9～21週（2/26～5/27）に継続的に患者が報告され、第13週（3/26～4/1）がピークであった。年齢階級別では、例年と同様に1～4歳が多く、全体の70.5%を占めた。



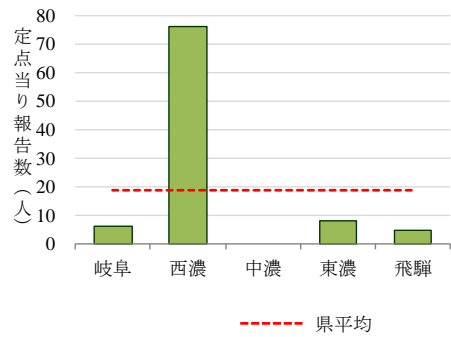
週別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

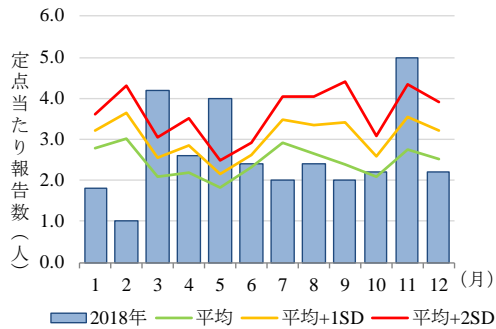


圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

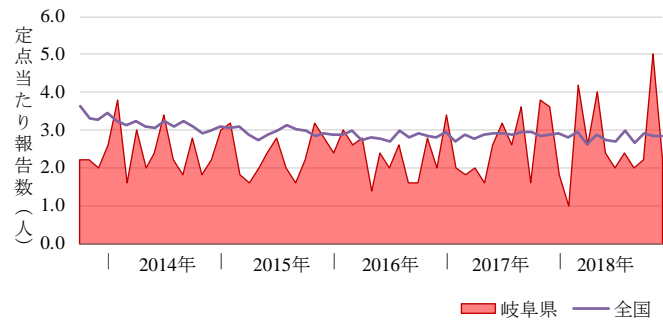
## f. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

### 患者情報

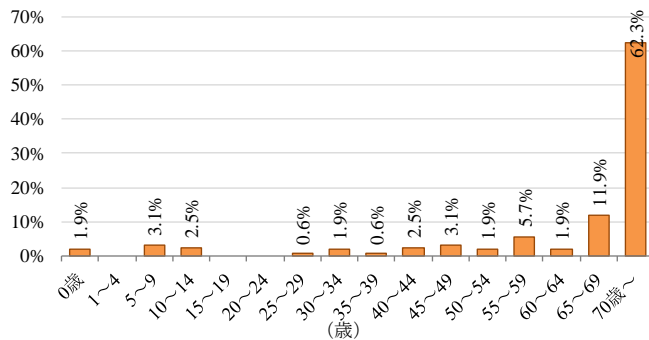
2018年の累積患者報告数は159人（定点当たり31.80人）で、前年（定点当たり31.80人）と同程度であった。年齢階級別では、例年と同様に高齢者が多く70歳以上が全体の62.3%を占めた。



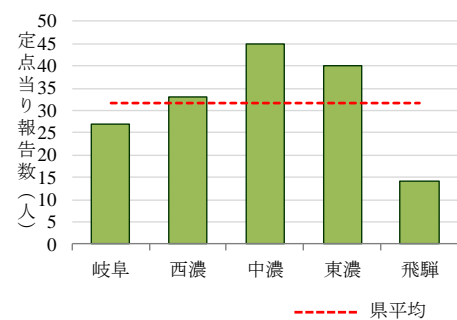
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

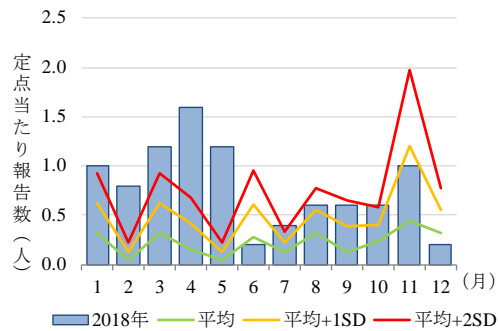


圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

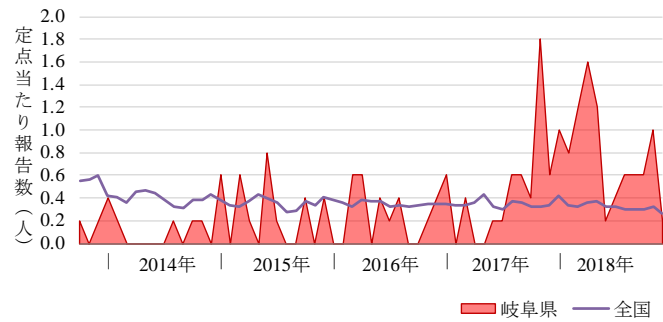
## g. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

### 患者情報

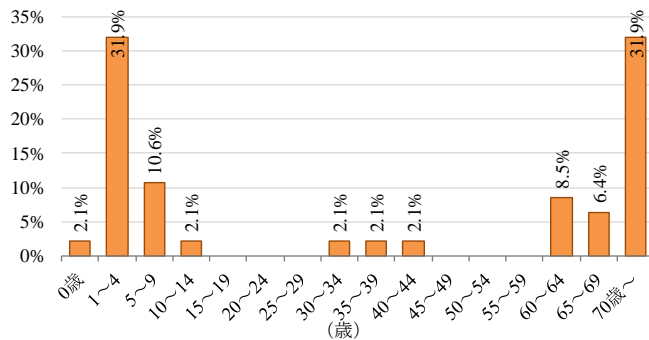
2018年の累積患者報告数は47人（定点当たり9.40人）で、前年（定点当たり5.40人）と比べて増加した。年齢階級別では、前年と同様に70歳以上（31.9%）、1～4歳（31.9%）に多かった。



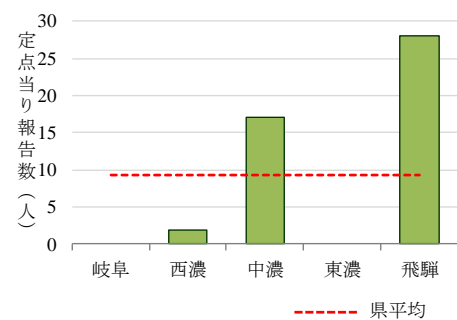
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

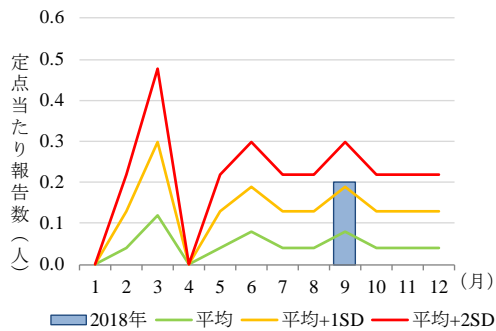


圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

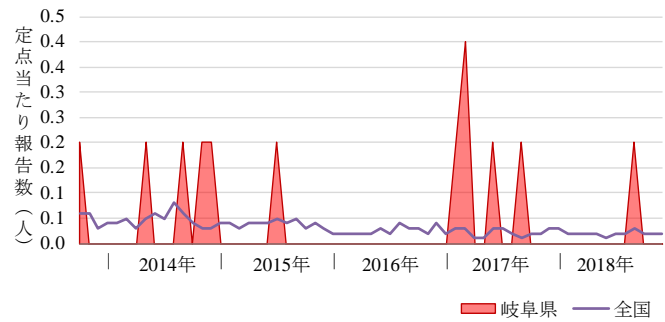
## h. 薬剤耐性緑膿菌感染症

### 患者情報

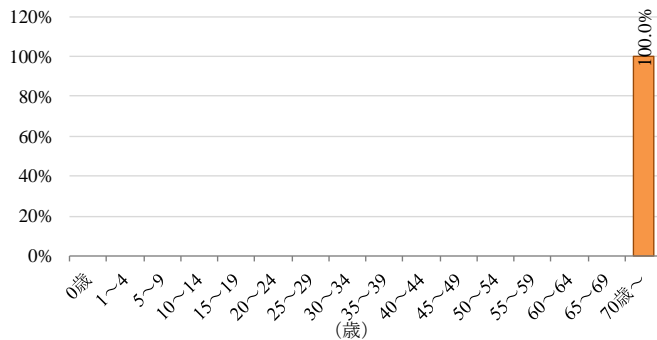
2018年の累積患者報告数は1人（定点当たり0.20人）で、前年（定点当たり1.00人）と比べて減少した。患者の年齢階級は70歳以上であった。



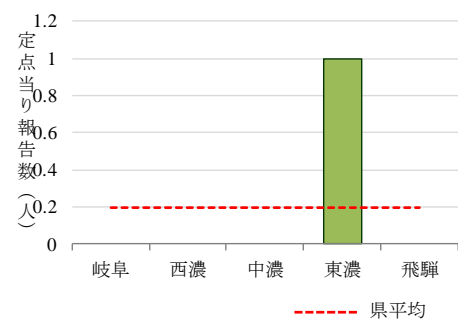
月別報告数 過去5年間の平均との比較



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)



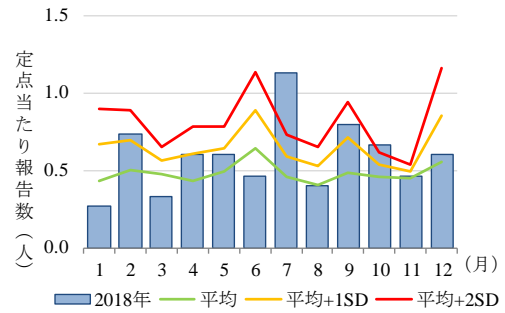
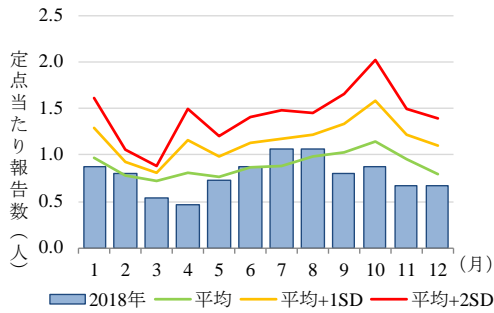
圏域別定点当たり報告数(2018年累積)

(5) 性感染症定点

a. 性器クラミジア感染症

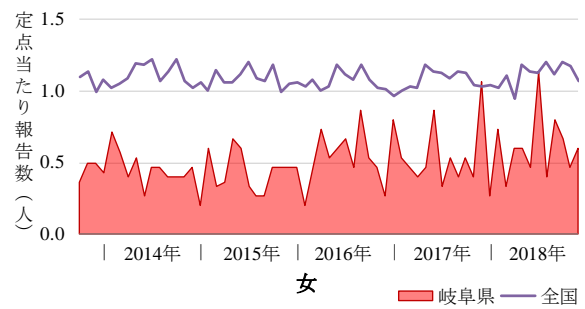
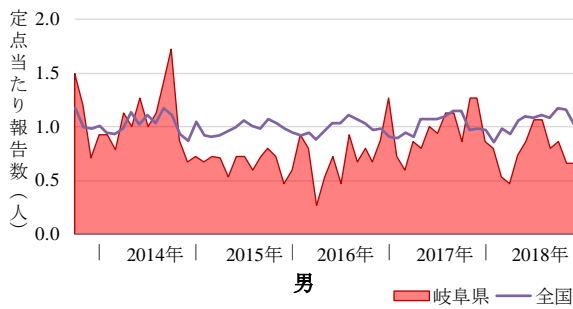
患者情報

2018年の累積患者報告数は男性141人（定点当たり9.40人）、女性106人（定点当たり7.07人）で、前年（男性：定点当たり11.87人、女性：定点当たり6.80人）と比べて男性は減少、女性は増加した。男女ともに20歳代が多く、10代後半の患者も報告された。

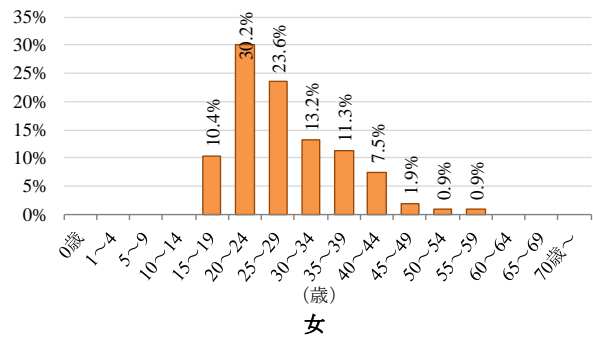
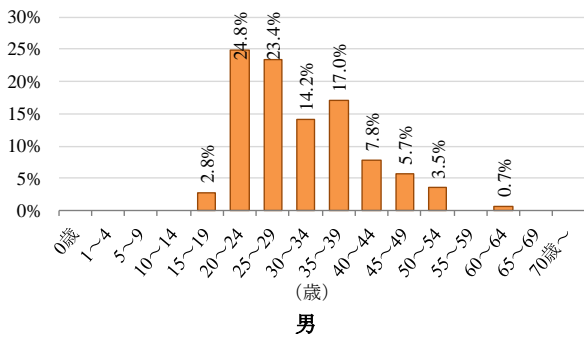


男 月別報告数 過去5年間の平均との比較

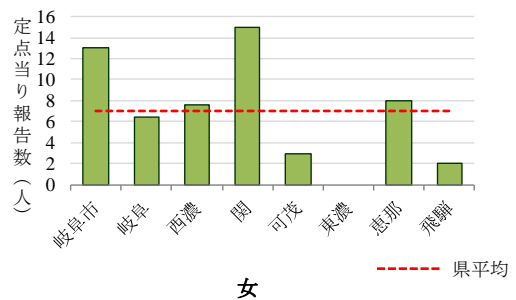
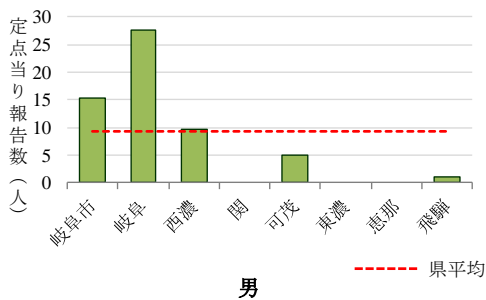
女



直近5年間の推移(全国との比較)



年齢階級別割合(2018年累積)

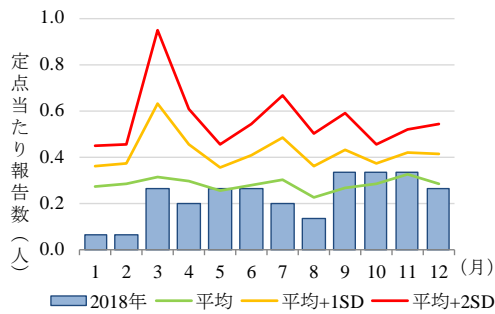


保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

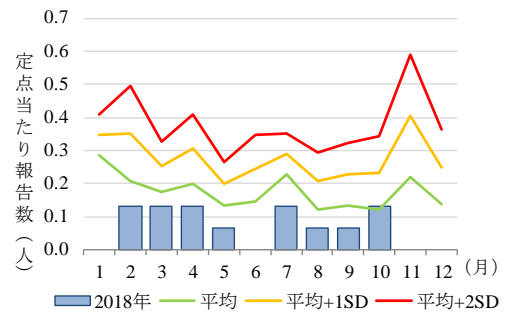
## b. 性器ヘルペスウイルス感染症

### 患者情報

2018年の累積患者報告数は男性41人（定点当たり2.73人）、女性13人（定点当たり0.87人）で、前年（男性：定点当たり2.87人、女性：定点当たり1.27人）と同程度であった。男女ともに20歳代～30歳代前半に多かった。

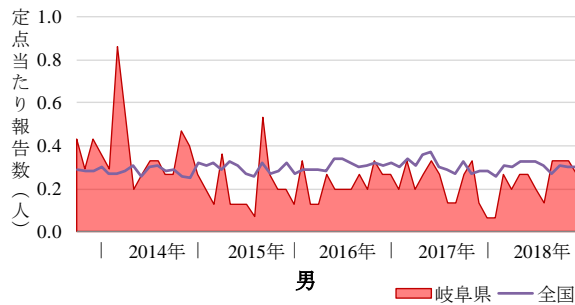


男

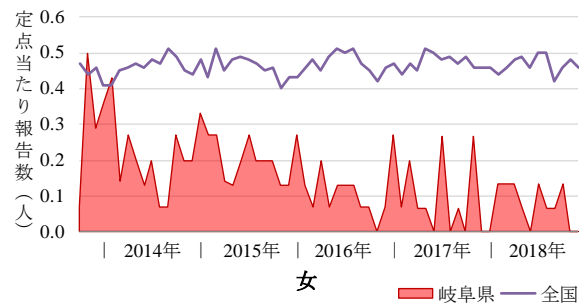


女

月別報告数 過去5年間の平均との比較

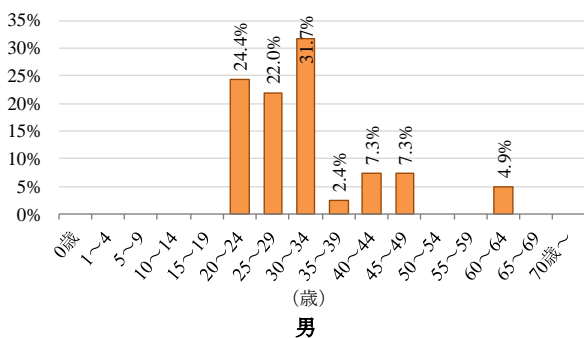


男

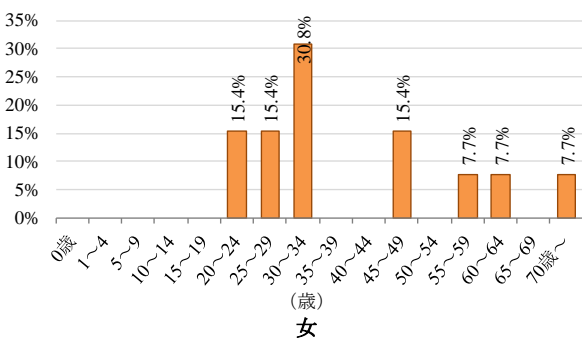


女

直近5年間の推移(全国との比較)

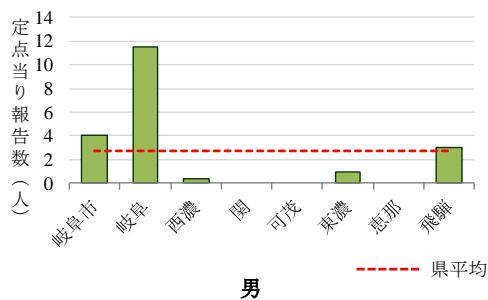


男

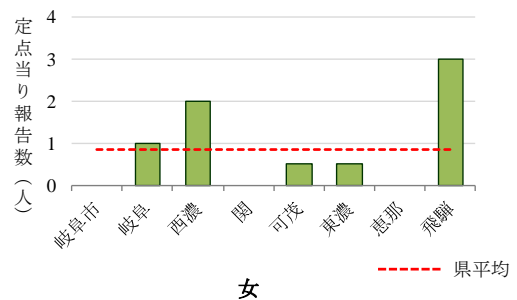


女

年齢階級別割合(2018年累積)



男



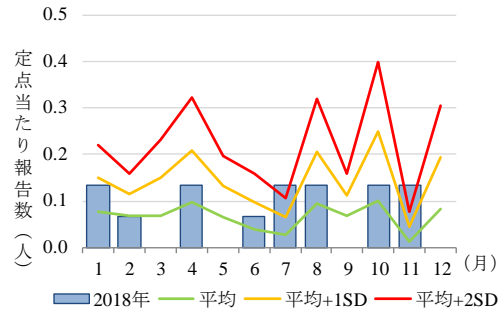
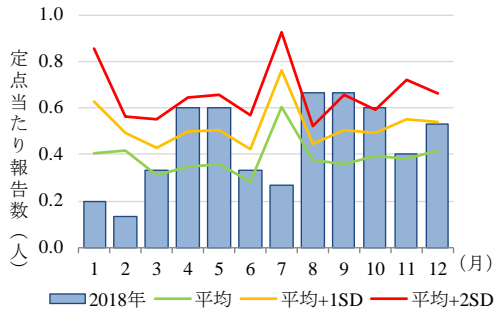
女

保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

### c. 尖圭コンジローマ

#### 患者情報

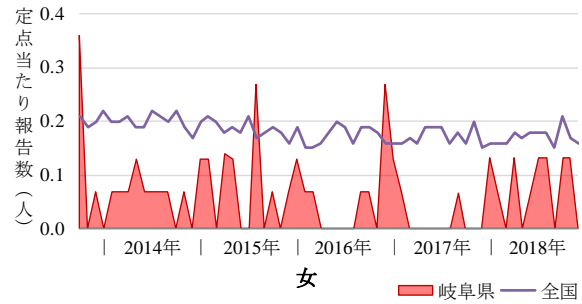
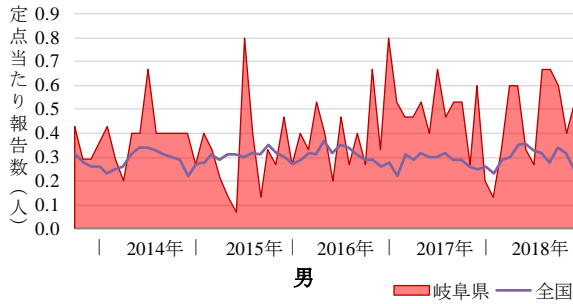
2018年の累積患者報告数は男性80人（定点当たり5.33人）、女性14人（定点当たり0.93人）で、前年（男性：定点当たり6.27人、女性：定点当たり0.27人）と比べて男性は減少、女性は増加した。男女ともに20歳代後半の報告が多かった。



男

女

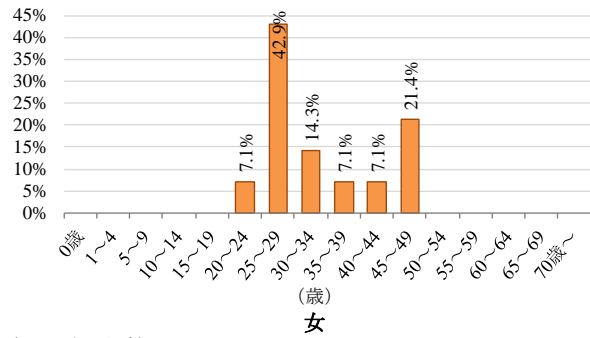
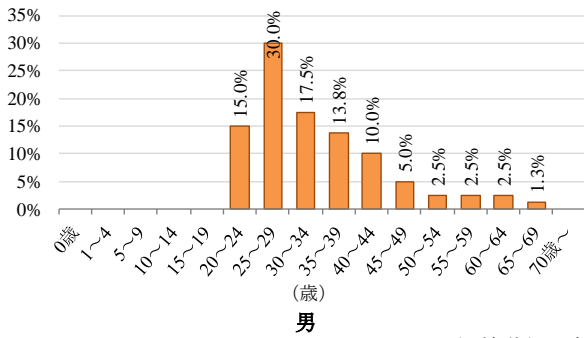
月別報告数 過去5年間の平均との比較



男

女

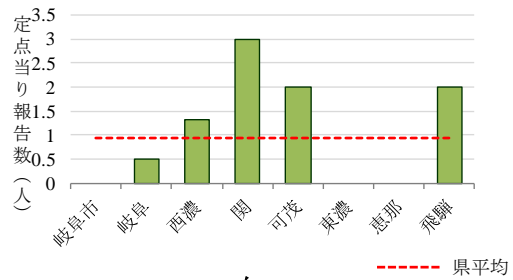
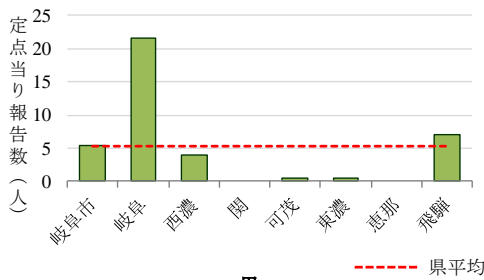
直近5年間の推移(全国との比較)



男

女

年齢階級別割合(2018年累積)



男

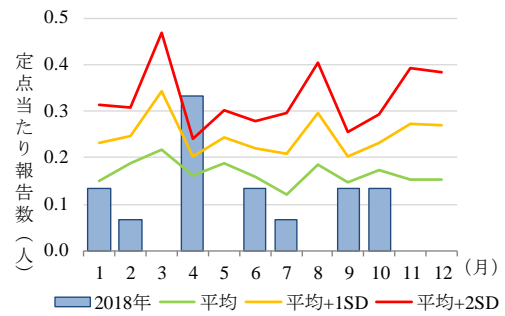
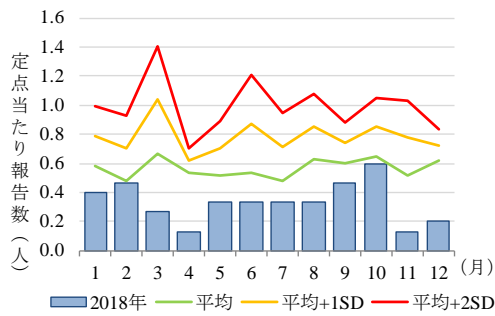
女

保健所別定点当たり報告数(2018年累積)

## d. 淋菌感染症

### 患者情報

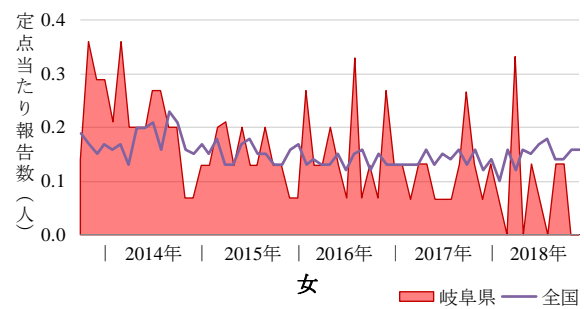
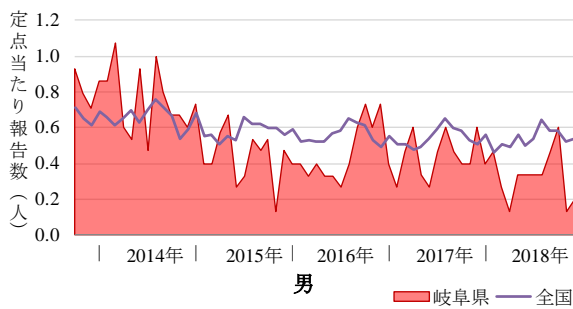
2018年の累積患者報告数は男性60人（定点当たり4.00人）、女性15人（定点当たり1.00人）で、前年（男性：定点当たり5.27人、女性：定点当たり1.40人）と比べて男女ともに減少した。男女ともに20歳代が多く、10代後半の患者も報告された。



男

女

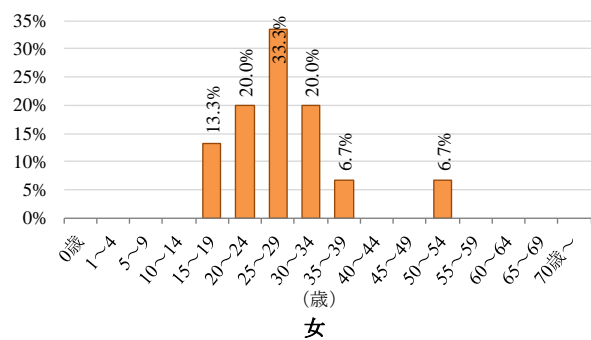
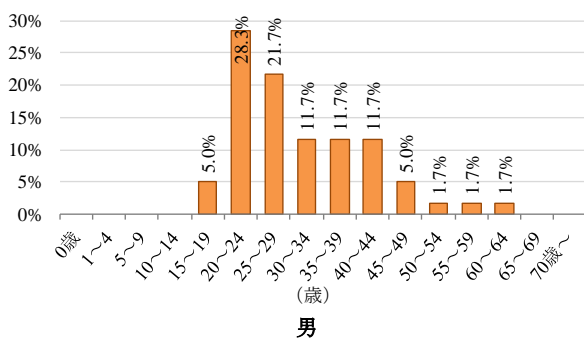
月別報告数 過去5年間の平均との比較



男

女

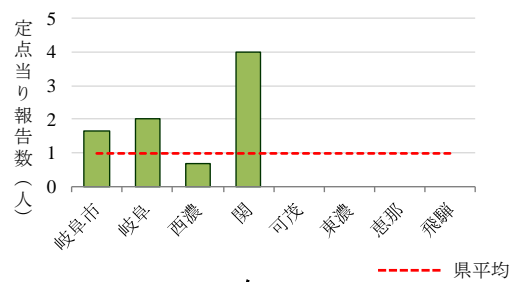
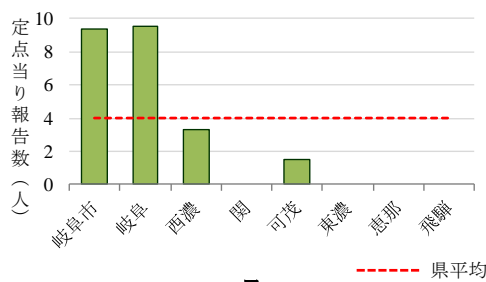
直近5年間の推移(全国との比較)



男

女

年齢階級別割合(2018年累積)



男

女

保健所別定点当たり報告数(2018年累積)



3 感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症  
2018 年、疑似症の報告はなかった。

## 集計表

表 1	全数把握対象感染症	年別患者報告数
表 2	〃	性・年齢階級別患者報告数
表 3	〃	保健所別患者報告数
表 4	定点把握対象感染症	週/月別患者報告数・定点当たり報告数
表 5	〃	年齢階級別患者報告数
表 6	〃	保健所別患者報告数
表 7	病原体検出状況	

表1 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	432	421	475	448	379
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H5N1）	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H7N9）	-	-	-	-	-
3類	コレラ	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	3	-	-	2	1
	腸管出血性大腸菌感染症	37	27	50	101	64
	腸チフス	-	1	1	1	5
	パラチフス	-	-	-	-	1
4類	E型肝炎	3	-	3	1	1
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	2	-	1	3	4
	エキノコックス症	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	2	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	1	-	-	-	-
	つつが虫病	9	16	27	9	13
	デング熱	7	6	3	2	5
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	1	-	-
	マラリア	1	1	1	-	-
	野兔病	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-
類鼻疽	-	-	-	-	-	
レジオネラ症	21	26	38	33	47	
レプトスピラ症	-	-	-	-	-	
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	

表1 (続き) 全数把握対象感染症 年別患者報告数

類型	疾患名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
5類	アメーバ赤痢	17	16	14	14	23
	ウイルス性肝炎	-	3	1	4	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	8	9	13	19
	急性弛緩性麻痺	-	-	-	-	13
	急性脳炎	1	-	-	6	8
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5	2	4	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	3	6	7	11
	後天性免疫不全症候群	21	23	26	12	23
	ジアルジア症	1	-	-	-	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	5	3	8	8
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	3	3	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	27	43	47	33	44
	水痘(入院例に限る)	4	7	6	4	7
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	11	18	33	69	77
	播種性クリプトコックス症	-	4	4	1	4
	破傷風	1	1	-	2	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	1	-	-
	百日咳	-	-	-	-	92
	風しん	2	1	3	1	10
	麻しん	3	1	-	-	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	

表2 全数把握対象感染症 性・年齢階級別患者報告数 -2018年- (報告のあった疾患)

(男女計)

類型	疾患名	総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
2類	結核	379	4	2	1	1	-	22	24	26	29	47	59	109	55
3類	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	64	-	4	5	4	9	15	7	5	4	6	3	1	1
	腸チフス	5	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-
	パラチフス	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	A型肝炎	4	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-
	つつが虫病	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	4	1
	デング熱	5	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-
	レジオネラ症	47	-	-	-	-	-	-	-	1	5	15	17	9	-
5類	アメーバ赤痢	23	-	-	-	-	-	-	1	4	10	5	3	-	-
	ウイルス性肝炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	8	6	1
	急性弛緩性麻痺	13	1	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	8	2	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	クリプトスポリジウム症	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11	-	-	-	-	-	1	1	1	-	3	3	1	1
	後天性免疫不全症候群	23	-	-	-	-	-	5	5	11	1	1	-	-	-
	ジアルジア症	3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	44	1	4	2	-	-	-	-	1	4	10	14	6	2
	水痘(入院例)	7	-	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	2
	梅毒	77	-	-	-	-	-	29	17	16	8	2	2	2	1
	播種性クリプトコックス症	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-
	破傷風	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	百日咳	92	7	2	24	15	7	8	11	10	5	3	-	-	-
	風しん	10	-	-	-	-	-	-	3	5	1	-	1	-	-
麻しん	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	

表2 (続き) 全数把握対象感染症性・年齢階級別患者報告数 -2018年- (報告のあった疾患)  
(男性)

類型	疾患名	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
2類	結核	203	1	1	-	1	-	11	6	13	14	27	44	61	24
3類	細菌性赤痢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	28	-	3	2	2	4	6	3	2	-	3	1	1	1
	腸チフス	4	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-
	パラチフス	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	A型肝炎	3	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
	つつが虫病	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	1
	デング熱	3	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
	レジオネラ症	43	-	-	-	-	-	-	-	1	4	13	17	8	-
5類	アメーバ赤痢	23	-	-	-	-	-	-	1	4	10	5	3	-	-
	ウイルス性肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	4	5	1
	急性弛緩性麻痺	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	6	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	クリプトスポリジウム症	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	3	-	-
	後天性免疫不全症候群	22	-	-	-	-	-	5	5	10	1	1	-	-	-
	ジアルジア症	3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	24	1	2	1	-	-	-	-	-	3	6	9	1	1
	水痘(入院例)	3	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
	梅毒	46	-	-	-	-	-	8	16	10	7	2	1	2	-
	播種性クリプトコックス症	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	破傷風	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	百日咳	37	4	-	10	7	4	4	3	2	2	1	-	-	-
	風しん	8	-	-	-	-	-	-	2	5	1	-	-	-	-
麻疹	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	

(女性)

類型	疾患名	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
2類	結核	176	3	1	1	-	-	11	18	13	15	20	15	48	31
3類	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	36	-	1	3	2	5	9	4	3	4	3	2	-	-
	腸チフス	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
4類	パラチフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	E型肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	つつが虫病	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-
	デング熱	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-
5類	アメーバ赤痢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ウイルス性肝炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	1	-
	急性弛緩性麻痺	8	-	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性脳炎	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	ジアルジア症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	20	-	2	1	-	-	-	-	1	1	4	5	5	1
	水痘(入院例)	4	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	梅毒	31	-	-	-	-	-	21	1	6	1	-	1	-	1
	播種性クリプトコックス症	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	破傷風	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	百日咳	55	3	2	14	8	3	4	8	8	3	2	-	-	-
	風しん	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
麻疹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表3 全数把握対象感染症 保健所別患者報告数 -2018年- (報告のあった疾患)

類型	疾患名	総数	岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
2類	結核	379	108	62	57	39	34	37	21	21
3類	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	64	6	9	13	4	1	5	4	22
	腸チフス	5	1	-	-	-	3	1	-	-
	パラチフス	1	1	-	-	-	-	-	-	-
4類	E型肝炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	A型肝炎	4	3	-	-	-	-	-	1	-
	つつが虫病	13	-	-	2	10	-	-	-	1
	デング熱	5	2	-	-	-	-	2	-	1
	レジオネラ症	47	10	7	7	6	3	8	2	4
5類	アメーバ赤痢	23	7	1	6	-	3	5	-	1
	ウイルス性肝炎	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19	7	6	1	-	5	-	-	-
	急性弛緩性麻痺	13	9	-	2	-	-	2	-	-
	急性脳炎	8	5	-	1	-	-	2	-	-
	クリプトスポリジウム症	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11	4	1	3	1	1	-	1	-
	後天性免疫不全症候群	23	18	-	2	-	3	-	-	-
	ジアルジア症	3	2	-	-	-	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8	1	3	4	-	-	-	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	44	13	7	12	-	-	7	4	1
	水痘(入院例)	7	4	-	1	1	-	1	-	-
	梅毒	77	31	5	12	3	12	5	4	5
	播種性クリプトコックス症	4	3	-	-	-	-	-	1	-
	破傷風	2	1	-	1	-	-	-	-	-
	百日咳	92	14	13	3	2	30	9	2	19
	風しん	10	2	3	-	1	1	-	2	1
麻しん	1	-	-	1	-	-	-	-	-	

表4-1 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (インフルエンザ定点・小児科定点)

インフルエンザ定点					小児科定点									
週	期間	インフルエンザ			定点数	RSウイルス感染症			咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
		報告数	定点当	定点数		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	
1	1/1~1/7	86	2,174	25.28	52	21	0.40	9	0.17	32	0.62	154	2.96	
2	1/8~1/14	87	2,366	27.20	53	19	0.36	20	0.38	30	0.57	224	4.23	
3	1/15~1/21	87	3,753	43.14	53	8	0.15	29	0.55	53	1.00	278	5.25	
4	1/22~1/28	87	3,319	38.15	53	17	0.32	17	0.32	54	1.02	179	3.38	
5	1/29~2/4	87	3,338	38.37	53	25	0.47	13	0.25	71	1.34	179	3.38	
6	2/5~2/11	87	2,797	32.15	53	16	0.30	14	0.26	73	1.38	168	3.17	
7	2/12~2/18	87	2,282	26.23	53	4	0.08	7	0.13	62	1.17	149	2.81	
8	2/19~2/25	87	1,509	17.34	53	5	0.09	18	0.34	82	1.55	178	3.36	
9	2/26~3/4	87	1,256	14.44	53	8	0.15	11	0.21	53	1.00	172	3.25	
10	3/5~3/11	87	1,038	11.93	53	6	0.11	3	0.06	63	1.19	193	3.64	
11	3/12~3/18	87	683	7.85	53	15	0.28	9	0.17	55	1.04	211	3.98	
12	3/19~3/25	87	433	4.98	53	12	0.23	14	0.26	55	1.04	192	3.62	
13	3/26~4/1	87	210	2.41	53	16	0.30	5	0.09	43	0.81	203	3.83	
14	4/2~4/8	87	116	1.33	53	7	0.13	13	0.25	36	0.68	223	4.21	
15	4/9~4/15	87	109	1.25	53	10	0.19	7	0.13	61	1.15	233	4.40	
16	4/16~4/22	87	147	1.69	53	9	0.17	14	0.26	43	0.81	309	5.83	
17	4/23~4/29	87	48	0.55	53	5	0.09	19	0.36	54	1.02	317	5.98	
18	4/30~5/6	87	47	0.54	53	3	0.06	15	0.28	27	0.51	169	3.19	
19	5/7~5/13	87	22	0.25	53	1	0.02	9	0.17	65	1.23	250	4.72	
20	5/14~5/20	87	19	0.22	53	3	0.06	27	0.51	82	1.55	254	4.79	
21	5/21~5/27	87	21	0.24	53	9	0.17	30	0.57	60	1.13	255	4.81	
22	5/28~6/3	87	10	0.11	53	5	0.09	27	0.51	102	1.92	276	5.21	
23	6/4~6/10	87	5	0.06	53	5	0.09	28	0.53	82	1.55	303	5.72	
24	6/11~6/17	87	1	0.01	53	8	0.15	36	0.68	76	1.43	220	4.15	
25	6/18~6/24	87	1	0.01	53	8	0.15	15	0.28	70	1.32	187	3.53	
26	6/25~7/1	87	1	0.01	53	1	0.02	24	0.45	69	1.30	196	3.70	
27	7/2~7/8	87	2	0.02	53	7	0.13	16	0.30	62	1.17	179	3.38	
28	7/9~7/15	87	2	0.02	53	29	0.55	20	0.38	66	1.25	122	2.30	
29	7/16~7/22	87	2	0.02	53	17	0.32	23	0.43	33	0.62	147	2.77	
30	7/23~7/29	87	-	-	53	27	0.51	24	0.45	52	0.98	134	2.53	
31	7/30~8/5	87	-	-	53	42	0.79	24	0.45	30	0.57	129	2.43	
32	8/6~8/12	86	1	0.01	51	50	0.98	31	0.61	40	0.78	110	2.16	
33	8/13~8/19	87	-	-	53	51	0.96	5	0.09	18	0.34	75	1.42	
34	8/20~8/26	87	-	-	53	58	1.09	13	0.25	32	0.60	89	1.68	
35	8/27~9/2	87	-	-	53	98	1.85	5	0.09	31	0.58	96	1.81	
36	9/3~9/9	87	-	-	53	104	1.96	18	0.34	16	0.30	142	2.68	
37	9/10~9/16	87	4	0.05	53	108	2.04	17	0.32	23	0.43	106	2.00	
38	9/17~9/23	87	8	0.09	53	111	2.09	14	0.26	27	0.51	111	2.09	
39	9/24~9/30	87	13	0.15	53	81	1.53	13	0.25	36	0.68	82	1.55	
40	10/1~10/7	87	12	0.14	53	63	1.19	19	0.36	34	0.64	130	2.45	
41	10/8~10/14	87	10	0.11	53	53	1.00	7	0.13	27	0.51	93	1.75	
42	10/15~10/21	87	11	0.13	53	29	0.55	7	0.13	47	0.89	104	1.96	
43	10/22~10/28	87	11	0.13	53	28	0.53	11	0.21	59	1.11	119	2.25	
44	10/29~11/4	87	30	0.34	53	29	0.55	5	0.09	75	1.42	116	2.19	
45	11/5~11/11	87	26	0.30	53	26	0.49	3	0.06	65	1.23	181	3.42	
46	11/12~11/18	86	34	0.40	52	22	0.42	19	0.37	61	1.17	194	3.73	
47	11/19~11/25	86	33	0.38	52	19	0.37	14	0.27	66	1.27	225	4.33	
48	11/26~12/2	86	71	0.83	52	11	0.21	11	0.21	59	1.13	292	5.62	
49	12/3~12/9	86	126	1.47	52	17	0.33	14	0.27	67	1.29	330	6.35	
50	12/10~12/16	87	301	3.46	53	12	0.23	19	0.36	74	1.40	364	6.87	
51	12/17~12/23	87	804	9.24	53	24	0.45	19	0.36	46	0.87	407	7.68	
52	12/24~12/30	87	1,769	20.33	53	20	0.38	25	0.47	58	1.09	357	6.74	
総数		-	28,975	333.49	-	1,382	26.14	829	15.68	2,757	52.15	10,106	191.16	
週平均		-	557.21	6.41	-	26.58	0.50	15.94	0.30	53.02	1.00	194.35	3.68	

表4-2 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (小児科定点)

小児科定点			水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	52	8	0.15	6	0.12	-	-	7	0.13	-	-
2	1/8~1/14	53	7	0.13	5	0.09	1	0.02	15	0.28	-	-
3	1/15~1/21	53	13	0.25	11	0.21	1	0.02	15	0.28	-	-
4	1/22~1/28	53	8	0.15	13	0.25	-	-	8	0.15	-	-
5	1/29~2/4	53	4	0.08	12	0.23	1	0.02	13	0.25	-	-
6	2/5~2/11	53	13	0.25	5	0.09	1	0.02	16	0.30	-	-
7	2/12~2/18	53	5	0.09	1	0.02	-	-	16	0.30	-	-
8	2/19~2/25	53	3	0.06	3	0.06	-	-	13	0.25	-	-
9	2/26~3/4	53	10	0.19	3	0.06	-	-	7	0.13	-	-
10	3/5~3/11	53	8	0.15	2	0.04	2	0.04	14	0.26	-	-
11	3/12~3/18	53	2	0.04	-	-	1	0.02	17	0.32	-	-
12	3/19~3/25	53	2	0.04	3	0.06	-	-	11	0.21	1	0.02
13	3/26~4/1	53	5	0.09	3	0.06	-	-	7	0.13	-	-
14	4/2~4/8	53	2	0.04	-	-	2	0.04	7	0.13	2	0.04
15	4/9~4/15	53	2	0.04	-	-	-	-	23	0.43	-	-
16	4/16~4/22	53	2	0.04	1	0.02	2	0.04	25	0.47	-	-
17	4/23~4/29	53	9	0.17	-	-	-	-	22	0.42	4	0.08
18	4/30~5/6	53	1	0.02	-	-	-	-	7	0.13	-	-
19	5/7~5/13	53	9	0.17	1	0.02	-	-	13	0.25	-	-
20	5/14~5/20	53	10	0.19	1	0.02	4	0.08	15	0.28	2	0.04
21	5/21~5/27	53	7	0.13	4	0.08	-	-	22	0.42	2	0.04
22	5/28~6/3	53	10	0.19	1	0.02	1	0.02	15	0.28	1	0.02
23	6/4~6/10	53	13	0.25	13	0.25	-	-	27	0.51	2	0.04
24	6/11~6/17	53	14	0.26	7	0.13	2	0.04	26	0.49	13	0.25
25	6/18~6/24	53	8	0.15	8	0.15	1	0.02	22	0.42	15	0.28
26	6/25~7/1	53	8	0.15	8	0.15	2	0.04	13	0.25	15	0.28
27	7/2~7/8	53	10	0.19	10	0.19	2	0.04	18	0.34	24	0.45
28	7/9~7/15	53	5	0.09	9	0.17	1	0.02	15	0.28	55	1.04
29	7/16~7/22	53	2	0.04	23	0.43	-	-	14	0.26	87	1.64
30	7/23~7/29	53	3	0.06	27	0.51	4	0.08	18	0.34	124	2.34
31	7/30~8/5	53	1	0.02	22	0.42	1	0.02	16	0.30	130	2.45
32	8/6~8/12	51	3	0.06	31	0.61	2	0.04	9	0.18	147	2.88
33	8/13~8/19	53	8	0.15	12	0.23	2	0.04	7	0.13	61	1.15
34	8/20~8/26	53	4	0.08	14	0.26	1	0.02	11	0.21	65	1.23
35	8/27~9/2	53	12	0.23	23	0.43	8	0.15	17	0.32	60	1.13
36	9/3~9/9	53	8	0.15	23	0.43	1	0.02	15	0.28	59	1.11
37	9/10~9/16	53	9	0.17	30	0.57	3	0.06	12	0.23	59	1.11
38	9/17~9/23	53	10	0.19	25	0.47	3	0.06	10	0.19	40	0.75
39	9/24~9/30	53	10	0.19	9	0.17	7	0.13	11	0.21	32	0.60
40	10/1~10/7	53	11	0.21	22	0.42	5	0.09	9	0.17	16	0.30
41	10/8~10/14	53	3	0.06	23	0.43	5	0.09	13	0.25	24	0.45
42	10/15~10/21	53	12	0.23	28	0.53	4	0.08	15	0.28	14	0.26
43	10/22~10/28	53	6	0.11	22	0.42	10	0.19	11	0.21	9	0.17
44	10/29~11/4	53	6	0.11	18	0.34	9	0.17	15	0.28	2	0.04
45	11/5~11/11	53	11	0.21	12	0.23	9	0.17	17	0.32	3	0.06
46	11/12~11/18	52	11	0.21	22	0.42	9	0.17	7	0.13	3	0.06
47	11/19~11/25	52	3	0.06	17	0.33	5	0.10	13	0.25	3	0.06
48	11/26~12/2	52	4	0.08	22	0.42	16	0.31	11	0.21	3	0.06
49	12/3~12/9	52	10	0.19	14	0.27	20	0.38	16	0.31	3	0.06
50	12/10~12/16	53	8	0.15	13	0.25	17	0.32	14	0.26	7	0.13
51	12/17~12/23	53	14	0.26	14	0.26	12	0.23	8	0.15	1	0.02
52	12/24~12/30	53	6	0.11	7	0.13	19	0.36	9	0.17	1	0.02
総数		-	373	7.06	603	11.41	196	3.71	727	13.75	1,089	20.60
週平均		-	7.17	0.14	11.60	0.22	3.77	0.07	13.98	0.26	20.94	0.40



表4-3 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (小児科定点・眼科定点)

小児科定点					眼科定点				
週	期間	定点数	流行性 耳下腺炎		定点数	急性出血性 結膜炎		流行性 角結膜炎	
			報告数	定点当		報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	52	11	0.21	11	-	-	2	0.18
2	1/8~1/14	53	13	0.25	11	-	-	5	0.45
3	1/15~1/21	53	11	0.21	11	-	-	2	0.18
4	1/22~1/28	53	8	0.15	11	-	-	3	0.27
5	1/29~2/4	53	14	0.26	11	-	-	6	0.55
6	2/5~2/11	53	7	0.13	11	-	-	4	0.36
7	2/12~2/18	53	6	0.11	11	-	-	1	0.09
8	2/19~2/25	53	11	0.21	11	-	-	-	-
9	2/26~3/4	53	7	0.13	11	-	-	3	0.27
10	3/5~3/11	53	13	0.25	11	-	-	3	0.27
11	3/12~3/18	53	11	0.21	11	-	-	3	0.27
12	3/19~3/25	53	2	0.04	11	-	-	1	0.09
13	3/26~4/1	53	10	0.19	11	-	-	3	0.27
14	4/2~4/8	53	9	0.17	11	-	-	3	0.27
15	4/9~4/15	53	3	0.06	11	-	-	4	0.36
16	4/16~4/22	53	3	0.06	11	1	0.09	3	0.27
17	4/23~4/29	53	-	-	11	-	-	1	0.09
18	4/30~5/6	53	4	0.08	11	1	0.09	3	0.27
19	5/7~5/13	53	5	0.09	11	-	-	-	-
20	5/14~5/20	53	8	0.15	11	-	-	2	0.18
21	5/21~5/27	53	4	0.08	11	-	-	-	-
22	5/28~6/3	53	4	0.08	11	-	-	3	0.27
23	6/4~6/10	53	3	0.06	11	-	-	2	0.18
24	6/11~6/17	53	7	0.13	11	-	-	3	0.27
25	6/18~6/24	53	8	0.15	11	-	-	-	-
26	6/25~7/1	53	6	0.11	11	-	-	1	0.09
27	7/2~7/8	53	6	0.11	11	-	-	1	0.09
28	7/9~7/15	53	5	0.09	11	-	-	2	0.18
29	7/16~7/22	53	4	0.08	11	-	-	2	0.18
30	7/23~7/29	53	4	0.08	11	-	-	5	0.45
31	7/30~8/5	53	2	0.04	11	-	-	2	0.18
32	8/6~8/12	51	4	0.08	11	-	-	1	0.09
33	8/13~8/19	53	3	0.06	11	-	-	2	0.18
34	8/20~8/26	53	3	0.06	11	-	-	8	0.73
35	8/27~9/2	53	2	0.04	11	-	-	7	0.64
36	9/3~9/9	53	3	0.06	11	1	0.09	7	0.64
37	9/10~9/16	53	4	0.08	11	-	-	2	0.18
38	9/17~9/23	53	2	0.04	11	-	-	8	0.73
39	9/24~9/30	53	3	0.06	11	-	-	8	0.73
40	10/1~10/7	53	1	0.02	11	-	-	13	1.18
41	10/8~10/14	53	3	0.06	11	-	-	6	0.55
42	10/15~10/21	53	6	0.11	11	-	-	11	1.00
43	10/22~10/28	53	4	0.08	11	-	-	4	0.36
44	10/29~11/4	53	2	0.04	11	-	-	4	0.36
45	11/5~11/11	53	-	-	11	-	-	4	0.36
46	11/12~11/18	52	-	-	11	-	-	7	0.64
47	11/19~11/25	52	1	0.02	11	-	-	7	0.64
48	11/26~12/2	52	3	0.06	11	-	-	2	0.18
49	12/3~12/9	52	1	0.02	11	-	-	2	0.18
50	12/10~12/16	53	2	0.04	11	-	-	4	0.36
51	12/17~12/23	53	-	-	11	-	-	6	0.55
52	12/24~12/30	53	1	0.02	11	-	-	6	0.55
総数		-	257	4.86		3	0.27	192	17.45
週平均		-	4.94	0.09		0.06	0.01	3.69	0.34

表4-4 定点把握対象感染症 週別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (基幹定点)

基幹定点 (週報)			細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
週	期間	定点数	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	1/1~1/7	5	1	0.20	-	-	2	0.40	-	-	-	-
2	1/8~1/14	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
3	1/15~1/21	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	0.20
4	1/22~1/28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1/29~2/4	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1	0.20
6	2/5~2/11	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
7	2/12~2/18	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
8	2/19~2/25	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
9	2/26~3/4	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5	1.00
10	3/5~3/11	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	4	0.80
11	3/12~3/18	5	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.60
12	3/19~3/25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.20
13	3/26~4/1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	17	3.40
14	4/2~4/8	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	8	1.60
15	4/9~4/15	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	8	1.60
16	4/16~4/22	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	14	2.80
17	4/23~4/29	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	5	1.00
18	4/30~5/6	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	2	0.40
19	5/7~5/13	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
20	5/14~5/20	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
21	5/21~5/27	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00
22	5/28~6/3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	6/4~6/10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
24	6/11~6/17	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
25	6/18~6/24	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
26	6/25~7/1	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
27	7/2~7/8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	7/9~7/15	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
29	7/16~7/22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	7/23~7/29	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	7/30~8/5	5	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-
32	8/6~8/12	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
33	8/13~8/19	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
34	8/20~8/26	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	8/27~9/2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	9/3~9/9	5	-	-	3	0.60	3	0.60	-	-	-	-
37	9/10~9/16	5	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-
38	9/17~9/23	5	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-
39	9/24~9/30	5	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
40	10/1~10/7	5	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-
41	10/8~10/14	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
42	10/15~10/21	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
43	10/22~10/28	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
44	10/29~11/4	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
45	11/5~11/11	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
46	11/12~11/18	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
47	11/19~11/25	5	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-
48	11/26~12/2	5	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
49	12/3~12/9	5	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-
50	12/10~12/16	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	12/17~12/23	5	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
52	12/24~12/30	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数		-	1	0.20	10	2.00	64	12.80	0	0.00	95	19.00
週平均		-	0.02	0.00	0.19	0.04	1.23	0.25	-	0.00	1.83	0.37

表4-5 定点把握対象感染症 月別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点(月報)							
月	定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	5	9	1.80	5	1.00	-	-
2	5	5	1.00	4	0.80	-	-
3	5	21	4.20	6	1.20	-	-
4	5	13	2.60	8	1.60	-	-
5	5	20	4.00	6	1.20	-	-
6	5	12	2.40	1	0.20	-	-
7	5	10	2.00	2	0.40	-	-
8	5	12	2.40	3	0.60	-	-
9	5	10	2.00	3	0.60	1	0.20
10	5	11	2.20	3	0.60	-	-
11	5	25	5.00	5	1.00	-	-
12	5	11	2.20	1	0.20	-	-
総数		159	31.80	47	9.40	1	0.20
月平均		13.25	2.65	3.92	0.78	0.08	0.02

性感染症定点													
月	定点数	性器クラミジア感染症						性器ヘルペスウイルス感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	17	1.13	13	0.87	4	0.27	1	0.07	1	0.07	-	-
2	15	23	1.53	12	0.80	11	0.73	3	0.20	1	0.07	2	0.13
3	15	13	0.87	8	0.53	5	0.33	6	0.40	4	0.27	2	0.13
4	15	16	1.07	7	0.47	9	0.60	5	0.33	3	0.20	2	0.13
5	15	20	1.33	11	0.73	9	0.60	5	0.33	4	0.27	1	0.07
6	15	20	1.33	13	0.87	7	0.47	4	0.27	4	0.27	-	-
7	15	33	2.20	16	1.07	17	1.13	5	0.33	3	0.20	2	0.13
8	15	22	1.47	16	1.07	6	0.40	3	0.20	2	0.13	1	0.07
9	15	24	1.60	12	0.80	12	0.80	6	0.40	5	0.33	1	0.07
10	15	23	1.53	13	0.87	10	0.67	7	0.47	5	0.33	2	0.13
11	15	17	1.13	10	0.67	7	0.47	5	0.33	5	0.33	-	-
12	15	19	1.27	10	0.67	9	0.60	4	0.27	4	0.27	-	-
総数		247	16.47	141	9.40	106	7.07	54	3.60	41	2.73	13	0.87
月平均		20.58	1.37	11.75	0.78	8.83	0.59	4.50	0.30	3.42	0.23	1.08	0.07

性感染症定点													
月	定点数	尖圭コンジローマ						淋菌感染症					
		男女計		男		女		男女計		男		女	
		報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
1	15	5	0.33	3	0.20	2	0.13	8	0.53	6	0.40	2	0.13
2	15	3	0.20	2	0.13	1	0.07	8	0.53	7	0.47	1	0.07
3	15	5	0.33	5	0.33	-	-	4	0.27	4	0.27	-	-
4	15	11	0.73	9	0.60	2	0.13	7	0.47	2	0.13	5	0.33
5	15	9	0.60	9	0.60	-	-	5	0.33	5	0.33	-	-
6	15	6	0.40	5	0.33	1	0.07	7	0.47	5	0.33	2	0.13
7	15	6	0.40	4	0.27	2	0.13	6	0.40	5	0.33	1	0.07
8	15	12	0.80	10	0.67	2	0.13	5	0.33	5	0.33	-	-
9	15	10	0.67	10	0.67	-	-	9	0.60	7	0.47	2	0.13
10	15	11	0.73	9	0.60	2	0.13	11	0.73	9	0.60	2	0.13
11	15	8	0.53	6	0.40	2	0.13	2	0.13	2	0.13	-	-
12	15	8	0.53	8	0.53	-	-	3	0.20	3	0.20	-	-
総数		94	6.27	80	5.33	14	0.93	75	5.00	60	4.00	15	1.00
月平均		7.83	0.52	6.67	0.44	1.17	0.08	6.25	0.42	5.00	0.33	1.25	0.08

表5-1 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

インフルエンザ定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	28,975 333.49	88 1.01	153 1.76	621 7.15	688 7.92	869 10.00	1,198 13.79	1,347 15.50	1,275 14.67	1,127 12.97	1,087 12.51	887 10.21	3,620 41.66	1,628 18.74	1,962 22.58	2,275 26.18	2,615 30.10	2,150 24.75	1,974 22.72	1,664 19.15	1,747 20.11
小児科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
R S ウイルス感染症	1,382 26.14	360 6.81	330 6.24	415 7.85	183 3.46	61 1.15	18 0.34	6 0.11	1 0.02	3 0.06	2 0.04	-	2 0.04	1 0.02	-						
咽頭結膜熱	829 15.68	9 0.17	35 0.66	199 3.76	129 2.44	131 2.48	130 2.46	82 1.55	34 0.64	29 0.55	11 0.21	10 0.19	24 0.45	1 0.02	5 0.09						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,757 52.15	3 0.06	10 0.19	86 1.63	190 3.59	329 6.22	445 8.42	452 8.55	377 7.13	276 5.22	167 3.16	126 2.38	223 4.22	25 0.47	48 0.91						
感染性胃腸炎	10,106 191.16	158 2.99	567 10.73	1,613 30.51	1,290 24.40	1,213 22.95	1,136 21.49	950 17.97	722 13.66	492 9.31	392 7.42	333 6.30	737 13.94	100 1.89	403 7.62						
水痘	373 7.06	4 0.08	19 0.36	21 0.40	17 0.32	32 0.61	41 0.78	43 0.81	50 0.95	44 0.83	38 0.72	24 0.45	35 0.66	1 0.02	4 0.08						
手足口病	603 11.41	7 0.13	27 0.51	136 2.57	125 2.36	91 1.72	75 1.42	59 1.12	34 0.64	28 0.53	10 0.19	4 0.08	6 0.11	-	1 0.02						
伝染性紅斑	196 3.71	-	2 0.04	10 0.19	19 0.36	19 0.36	34 0.64	40 0.76	24 0.45	17 0.32	10 0.19	10 0.19	8 0.15	-	3 0.06						
突発性発しん	727 13.75	7 0.13	271 5.13	355 6.72	66 1.25	19 0.36	7 0.13	1 0.02	1 0.02	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1,089 20.60	10 0.19	74 1.40	301 5.69	227 4.29	171 3.23	121 2.29	82 1.55	46 0.87	23 0.44	16 0.30	6 0.11	9 0.17	1 0.02	2 0.04						
流行性耳下腺炎	257 4.86	-	-	12 0.23	17 0.32	21 0.40	31 0.59	48 0.91	33 0.62	29 0.55	14 0.26	20 0.38	26 0.49	4 0.08	2 0.04						
眼科定点	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	3 0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.09	1	0.09	-	1	-	-
流行性角結膜炎	192 17.45	2 0.18	1 0.09	2 0.18	6 0.55	3 0.27	6 0.55	4 0.36	1 0.09	3 0.27	3 0.27	3 0.27	10 0.91	5 0.45	21 1.91	34 3.09	22 2.00	23 2.09	21 1.91	22 2.00	
基幹定点 (週報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎	1 0.20	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	10 2.00	-	3 0.60	4 0.80	3 0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	64 12.80	-	8 1.60	22 4.40	19 3.80	5 1.00	1 0.20	1 0.20	-	-	3 0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	5 1.00	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	95 19.00	9 1.80	67 13.40	18 3.60	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 上段：報告数、下段：定点当り報告数

表5-2 定点把握対象感染症 年齢階級別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年- (基幹定点・性感染症定点)

基幹定点 (月報)	総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	159 31.80	3 0.60	-	5 1.00	4 0.80	-	-	1 0.20	3 0.60	1 0.20	4 0.80	5 1.00	3 0.60	9 1.80	3 0.60	19 3.80	99 19.80
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	47 9.40	1 0.20	15 3.00	5 1.00	1 0.20	-	-	-	1 0.20	1 0.20	1 0.20	-	-	-	4 0.80	3 0.60	15 3.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.20

性感染症定点		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
性器クラミジア感染症	男女計	247 16.47	-	-	-	-	15 1.00	67 4.47	58 3.87	34 2.27	36 2.40	19 1.27	10 0.67	6 0.40	1 0.07	1 0.07	-	-
	男	141 9.40	-	-	-	-	4 0.27	35 2.33	33 2.20	20 1.33	24 1.60	11 0.73	8 0.53	5 0.33	-	1 0.07	-	-
	女	106 7.07	-	-	-	-	11 0.73	32 2.13	25 1.67	14 0.93	12 0.80	8 0.53	2 0.13	1 0.07	1 0.07	-	-	-
性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	54 3.60	-	-	-	-	-	12 0.80	11 0.73	17 1.13	1 0.07	3 0.20	5 0.33	-	1 0.07	3 0.20	-	1 0.07
	男	41 2.73	-	-	-	-	-	10 0.67	9 0.60	13 0.87	1 0.07	3 0.20	3 0.20	-	-	2 0.13	-	-
	女	13 0.87	-	-	-	-	-	2 0.13	2 0.13	4 0.27	-	-	2 0.13	-	1 0.07	1 0.07	-	1 0.07
尖圭コンジローマ	男女計	94 6.27	-	-	-	-	-	13 0.87	30 2.00	16 1.07	12 0.80	9 0.60	7 0.47	2 0.13	2 0.13	2 0.13	1 0.07	-
	男	80 5.33	-	-	-	-	-	12 0.80	24 1.60	14 0.93	11 0.73	8 0.53	4 0.27	2 0.13	2 0.13	2 0.13	1 0.07	-
	女	14 0.93	-	-	-	-	-	1 0.07	6 0.40	2 0.13	1 0.07	1 0.07	3 0.20	-	-	-	-	-
淋菌感染症	男女計	75 5.00	-	-	-	-	5 0.33	20 1.33	18 1.20	10 0.67	8 0.53	7 0.47	3 0.20	2 0.13	1 0.07	1 0.07	-	-
	男	60 4.00	-	-	-	-	3 0.20	17 1.13	13 0.87	7 0.47	7 0.47	7 0.47	3 0.20	1 0.07	1 0.07	1 0.07	-	-
	女	15 1.00	-	-	-	-	2 0.13	3 0.20	5 0.33	3 0.20	1 0.07	-	-	1 0.07	-	-	-	-

※ 上段：報告数、下段：定点当り報告数

表6-1 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年-  
(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)

定点種別	疾患名	総数	保健所							
			岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
インフルエンザ	インフルエンザ	28,975	6,287	5,873	5,029	3,286	2,098	2,918	1,335	2,149
		333.49	449.07	345.47	335.27	410.75	262.25	364.75	191.24	216.99
小児科	R S ウイルス感染症	1,382	380	340	195	79	142	122	24	100
		26.14	42.22	34.00	21.71	15.80	28.40	24.40	6.03	16.94
	咽頭結膜熱	829	152	186	144	15	51	52	219	10
		15.68	16.89	18.60	16.03	3.00	10.20	10.40	55.01	1.69
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,757	488	944	314	70	176	154	239	372
		52.15	54.22	94.40	34.96	14.00	35.20	30.80	60.04	63.01
	感染性胃腸炎	10,106	2,480	2,150	2,584	852	424	727	766	123
		191.16	275.56	215.00	287.73	170.40	84.80	145.40	192.43	20.83
	水痘	373	68	80	37	61	26	31	51	19
		7.06	7.56	8.00	4.12	12.20	5.20	6.20	12.81	3.22
	手足口病	603	136	180	88	26	18	20	59	76
11.41		15.11	18.00	9.80	5.20	3.60	4.00	14.82	12.87	
伝染性紅斑	196	29	93	50	3	5	2	11	3	
	3.71	3.22	9.30	5.57	0.60	1.00	0.40	2.76	0.51	
突発性発しん	727	178	182	232	24	39	16	48	8	
	13.75	19.78	18.20	25.83	4.80	7.80	3.20	12.06	1.36	
ヘルパンギーナ	1,089	237	333	106	224	29	48	74	38	
	20.60	26.33	33.30	11.80	44.80	5.80	9.60	18.59	6.44	
流行性耳下腺炎	257	19	60	67	8	14	49	20	20	
	4.86	2.11	6.00	7.46	1.60	2.80	9.80	5.02	3.39	
眼科	急性出血性結膜炎	3	1	-	-	-	2	-	-	
		0.27	0.50	-	-	-	2.00	-	-	
流行性角結膜炎	192	59	11	34	-	47	4	14	23	
	17.45	29.50	5.50	11.33	-	47.00	4.00	14.00	23.00	

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (週報)	細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-
		0.20	-	1.00	-	-	-
	無菌性髄膜炎	10	-	8	2	-	-
		2.00	-	8.00	2.00	-	-
	マイコプラズマ肺炎	64	-	32	7	13	12
12.80		-	32.00	7.00	13.00	12.00	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	95	6	76	-	8	5	
	19.00	6.00	76.00	-	8.00	5.00	

※ 上段：報告数、下段：定点当たり報告数

表6-2 定点把握対象感染症 保健所別患者報告数・定点当たり報告数 -2018年-(基幹定点・性感染症定点)

定点種別	疾患名	総数	圏域				
			岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
基幹 (月報)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	159 31.80	27 27.00	33 33.00	45 45.00	40 40.00	14 14.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	47 9.40	- -	2 2.00	17 17.00	- -	28 28.00
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1 0.20	- -	- -	- -	1 1.00	- -

定点種別	疾患名	性別	総数	保健所							
				岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
性感染症	性器クラミジア感染症	男女計	247 16.47	85 28.33	68 34.00	52 17.33	15 15.00	16 8.00	-	8 8.00	3 3.00
		男	141 9.40	46 15.33	55 27.50	29 9.67	-	10 5.00	-	-	1 1.00
		女	106 7.07	39 13.00	13 6.50	23 7.67	15 15.00	6 3.00	-	8 8.00	2 2.00
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女計	54 3.60	12 4.00	25 12.50	7 2.33	-	1 0.50	3 1.50	-	6 6.00
		男	41 2.73	12 4.00	23 11.50	1 0.33	-	-	2 1.00	-	3 3.00
		女	13 0.87	-	2 1.00	6 2.00	-	1 0.50	1 0.50	-	3 3.00
	尖圭コンジローマ	男女計	94 6.27	16 5.33	44 22.00	16 5.33	3 3.00	5 2.50	1 0.50	-	9 9.00
		男	80 5.33	16 5.33	43 21.50	12 4.00	-	1 0.50	1 0.50	-	7 7.00
		女	14 0.93	-	1 0.50	4 1.33	3 3.00	4 2.00	-	-	2 2.00
	淋菌感染症	男女計	75 5.00	33 11.00	23 11.50	12 4.00	4 4.00	3 1.50	-	-	-
		男	60 4.00	28 9.33	19 9.50	10 3.33	-	3 1.50	-	-	-
		女	15 1.00	5 1.67	4 2.00	2 0.67	4 4.00	-	-	-	-

※ 上段：報告数、下段：定点当たり報告数

表7 病原体検出状況 -2018年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
インフルエンザ	検査症例数	53	44	29	11	5				2		11	25	180
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	3	2							1		9	18	33
	インフルエンザウイルス AH3	21	16	10	10	5						1	7	70
	インフルエンザウイルス B型	29	24	19	1								1	74
	不検出		2	1						1		1		5
RSウイルス感染症	検査症例数	1	1	1	1			1	5	4	1	1	1	17
	RSウイルス	1	1	1	1			1	5	4	1	1	1	16
	不検出											1		1
咽頭結膜熱	検査症例数	2	2	3	2	1	2	2	2	1		1		18
	アデノウイルス1型	1						1						2
	アデノウイルス2型			1	2	1		2						6
	アデノウイルス3型	1	2						2	1		1		7
	アデノウイルス5型						1							1
	不検出			2										2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*1	検査症例数	5	8	4	4	7	6	2	2		3	3	3	47
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型		2	1		4	1	1			3	1	1	14
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3型		1	1										2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4型	2	3			1	2							8
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T6型			1										1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12型	1		1	2	2	2	1					1	10
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	2	1				1					1	1	6
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T型別不能		1		1			1	2					5
不検出				1							1		2	
感染性胃腸炎*2	検査症例数	4	2	1	6	7	2	3	2	1	4	3	3	38
	ノロウイルスGII					2						1	2	5
	A群ロタウイルスG3型				2									2
	A群ロタウイルスG9型					1								1
	サポウイルスGI				2									2
	エコーウイルス11型										1			1
	エンテロウイルス(未型別)											1		1
	アデノウイルス5型								1					1
	ライノウイルス							1						1
	<i>Campylobacter jejuni</i>	1									1	1		3
	サルモネラO8群	1							2					3
	不検出	2	2	1	2	4	2		1	1	2	1	1	19
	水痘	検査症例数		1	1							1		1
水痘・帯状疱疹ウイルス			1	1							1		1	4
手足口病*3	検査症例数	2		2			1	4	1	3	4	4	1	22
	コクサッキーウイルスA4型									1				1
	コクサッキーウイルスA6型								1					1
	コクサッキーウイルスA10型	1							1	1				3
	コクサッキーウイルスA16型										2	4	1	7
	エンテロウイルス71型	1		2					1		2	1		7
	ライノウイルス			1				1	2		2		1	7
	単純ヘルペスウイルス1型											1		1
	不検出							1			1			2
伝染性紅斑	検査症例数	1				1				1		1	1	5
	パルボウイルスB19					1				1		1	1	4
	不検出	1												1
突発性発しん	検査症例数			2	2	2		1		1	1	1		10
	ヒトヘルペスウイルス6型			2	2	2		1			1	1		9
	不検出										1			1

\*1 重複検出1例を含む(T12型とT型別不能:7月)。

\*2 重複検出1例を含む(ノロウイルスGIIとエンテロウイルス(未型別):11月)。

\*3 重複検出7例を含む(エンテロウイルス71型とライノウイルス:3月・9月各1例、コクサッキーウイルスA4とライノウイルス:9月1例、コクサッキーウイルスA6とライノウイルス:7月1例、コクサッキーウイルスA10とライノウイルス:7月1例、コクサッキーウイルスA16とライノウイルス:11月1例、コクサッキーウイルスA16と単純ヘルペスウイルス1型:11月1例)。



表7(続き) 病原体検出状況 -2018年-

(定点把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ヘルパンギーナ *4	検査症例数			1			2	2	5	1	2		3	16
	コクサッキーウイルスA2型								1					1
	コクサッキーウイルスA4型							1	3	1				5
	コクサッキーウイルスA6型												1	1
	コクサッキーウイルスA10型							1	1		2		2	6
	コクサッキーウイルスB4型								1					1
	ライノウイルス								2				1	3
	ヒトヘルペスウイルス6型						1							1
	ヒトヘルペスウイルス7型						1							1
単純ヘルペスウイルス1型			1										1	
流行性耳下腺炎	検査症例数		1	2		1	2				1		7	
	ムンプスウイルス		1	2							1		4	
	不検出					1	2						3	
流行性角結膜炎	検査症例数				1				1		2	1	5	
	アデノウイルス19型				1				1				2	
	アデノウイルス54型										1	1	2	
	アデノウイルス56型										1		1	
無菌性髄膜炎	検査症例数	1		1		1	1	1	1	2		1	9	
	エコーウイルス6型									1			1	
	エコーウイルス11型									1		1	2	
	アデノウイルス41型								1				1	
	ライノウイルス						1						1	
	不検出	1		1		1		1					4	

\*4 重複検出4例を含む(コクサッキーウイルスA4と同A10:8月1例、コクサッキーウイルスA2とライノウイルス:8月1例、コクサッキーウイルスA10とライノウイルス:12月1例、コクサッキーウイルス4とライノウイルス:8月1例)。

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
中東呼吸器症候群*5	検査症例数	1												1
	不検出	1												1
コレラ*6	検査症例数											1	1	
	不検出											1	1	
細菌性赤痢	検査症例数											1	1	
	<i>Shigella sonnei</i>											1	1	
腸管出血性大腸菌感染症	検査症例数	1	1	3	2	7	3	17	8	8	8	1	1	60
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2			1		1	1		4	4	1		1	13
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2										1		1	2
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2					1		1	1					3
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT2		1											1
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1					2		7	1		5			15
	<i>Escherichia coli</i> O26:H- VT1							4						4
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1&2				1									1
	<i>Escherichia coli</i> O103:H2 VT1								1		2			3
	<i>Escherichia coli</i> O111:H8 VT1				1									1
	<i>Escherichia coli</i> O111:H- VT1&2									1				1
	<i>Escherichia coli</i> O121:H19 VT2						1							1
	<i>Escherichia coli</i> O128:H2 VT2						1				1			2
	<i>Escherichia coli</i> O115:H10 VT1					2		3						5
	<i>Escherichia coli</i> O145:H- VT2	1												1
	<i>Escherichia coli</i> O146:H21 VT2										1			1
	<i>Escherichia coli</i> O91:H14 VT1					1								1
	<i>Escherichia coli</i> O55:H12 VT1							1						1
	<i>Escherichia coli</i> O5:H- VT1								1					1
	<i>Escherichia coli</i> O152:H8 VT1										1			1
<i>Escherichia coli</i> OUT:H21 VT2				1									1	
<i>Escherichia coli</i> OUT:H8 VT1				1									1	
腸チフス	検査症例数	3	1								1		5	
	<i>Salmonella</i> Typhi	3	1								1		5	
パラチフス	検査症例数		1										1	
	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		1										1	
E型肝炎	検査症例数		1										1	
	E型肝炎ウイルス(遺伝子型3f)		1										1	

\*5・6 疑い症例について検査を実施し、病原体不検出により否定。

表7(続き) 病原体検出状況 -2018年-

(全数把握対象疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
A型肝炎	検査症例数							1	1		1		1	4
	A型肝炎ウイルス(遺伝子型IA)										1			1
	A型肝炎ウイルス(遺伝子型IIIA)								1				1	2
	A型肝炎ウイルス(遺伝子型不明)						1							1
つつが虫病	検査症例数								1		1		1	3
	ツツガムシ病リケッチア Kawasaki型										1			1
デング熱*7	検査症例数								1		1			2
	デングウイルス1型										1			1
	デングウイルス3型								1					1
レジオネラ症	検査症例数				1	3	2							6
	<i>Legionella pneumophila</i> SG1				1	2	2							5
	<i>Legionella pneumophila</i> SG9						1							1
レプトスピラ症*8	検査症例数		1											1
	不検出		1											1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	検査症例数			1	1	1	1	2	4	3	3	2		18
	<i>Enterobacter cloacae</i> (IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)										1			1
	<i>Escherichia coli</i> (NDM型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性)											1		1
	<i>Enterobacter aerogenes</i> (カルバペネマーゼ非産生)			1						1		1		3
	<i>Enterobacter cloacae</i> (カルバペネマーゼ非産生)					1						1		2
	<i>Enterobacter amnigenus</i> (カルバペネマーゼ非産生)											1		1
	<i>Escherichia coli</i> (カルバペネマーゼ非産生)						1							1
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (カルバペネマーゼ非産生)				1							1	1	3
	<i>Serratia marcescens</i> (カルバペネマーゼ非産生)								2	2	1			5
	<i>Citrobacter freundii</i> (カルバペネマーゼ非産生)										1			1
	急性弛緩性麻痺*9	検査症例数									2	7	2	2
エンテロウイルス68型											1	1		2
コクサッキーウイルスB4												1		1
エコーウイルス11型												2		2
アデノウイルス2型												1		1
不検出											1	3	2	2
急性脳炎	検査症例数			2					1	1				4
	ヒトバレコウイルス3型									1				1
	ライノウイルス				1									1
	不検出				1						1			2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	検査症例数	3	2							2				7
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	3	2								1			6
	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> ssp. <i>equisimilis</i>										1			1
侵襲性肺炎球菌感染症*10	検査症例数				1				1			2		4
	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型3											1		1
	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型14									1				1
	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型15A											1		1
<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型24B				1									1	
風しん*11	検査症例数			1				1	2	2	9	3	1	19
	風疹ウイルス(遺伝子型IE)										1	5		6
麻しん*12	検査症例数		2	3	15	5		3		3	4	2		37
	麻疹ウイルス(遺伝子型D8)											1		1
	麻疹ウイルス(ワクチン株)					1								1
	風疹ウイルス(遺伝子型IE)								1					1
	デングウイルス2型					1								1
	不検出		2	3	13	5			2		2	4	2	33

\*7 2例以外に、海外渡航歴を有する麻しん及びデング熱疑い例におけるデングウイルス2型の検出例あり(「麻しん」欄に計上)。

\*8 疑い症例について検査を実施し、病原体不検出により否定。検査は国立感染症研究所で実施。

\*9 重複検出1例を含む(コクサッキーウイルスB4とアデノウイルス2型:10月)。

\*10 血清型別は国立感染症研究所で実施。

\*11・12 病原体不検出により後に届出が取り下げとなったものを含む。

表7(続き) 病原体検出状況 -2018年-

(その他の疾患)

臨床診断名 (疑いを含む)	検出病原体 (遺伝子検出を含む)	検体採取月												合計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
パレコウイルス感 染症	検査症例数						2	2							4
	ヒトパレコウイルス3型						2	2							4
新生児感染症	検査症例数												1		1
	エコーウイルス6型												1		1
その他*13	検査症例数						2						1		3
	不検出						2						1		3

\*13 臨床診断名は、気道感染症、エンテロウイルス感染症、心筋炎。

※表中には、2018年に検体が採取され2019年に届出された症例および届出基準に合致せず届出されなかった症例を含む。

岐阜県感染症発生動向調査年報 2018 年（平成 30 年）  
2019 年 11 月発行

岐阜県保健環境研究所  
疫学情報部 感染症情報センター

〒504-0838 各務原市那加不動丘 1 丁目 1 番地

TEL 058-380-2100（代） FAX 058-371-5016

E-mail [c22614@pref.gifu.lg.jp](mailto:c22614@pref.gifu.lg.jp)

HP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>